

注3

大学番号：私290

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

届出

倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 経営情報学科
生命科学部 健康医療学科

注2

【届出】設置に係る改善意見等対応状況報告書

学校法人 加計学園
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画室

職名・氏名 オゴウ タケシ
小郷 剛司

電話番号 086-440-1144

（夜間） 086-440-1111

F A X 086-440-1013

e-mail t-ogou@hq.kusa.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

産業科学技術学部

<経営情報学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1 ~ 6
2. 授業科目の概要	7 ~ 23
3. 施設・設備の整備状況、経費	24 ~ 25
4. 既設大学等の状況	26 ~ 31
5. 教員組織の状況	32 ~ 47
6. 改善意見等に対する履行状況等	48 ~ 51
7. その他全般的事項	52 ~ 54

生命科学部

<健康医療学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	55 ~ 59
2. 授業科目の概要	60 ~ 71
3. 施設・設備の整備状況、経費	72 ~ 73
4. 既設大学等の状況	74 ~ 79
5. 教員組織の状況	80 ~ 92
6. 改善意見等に対する履行状況等	93 ~ 96
7. その他全般的事項	97 ~ 99

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 加計学園

(2) 大学名

倉敷芸術科学大学

(3) 大学の位置

〒712-8505

岡山県倉敷市連島町西之浦2640番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カケ コウタロウ) 加計 晃太郎 (H13年1月)		
学長	(ソエダ タカシ) 添田 喬 (H17年4月)	(カラキ ヒデアキ) 唐木 英明 (H23年10月) (ドイ アキラ) 土井 章 (H26年4月) (コウノ イイチロウ) 河野 伊一郎 (H27年4月)	体調不良により退職 (24) 退職による交代 (26) 任期満了による交代 (27)
学部長	(ナカシマ ミチオ) 中島 道夫 (H23年4月)	(コヤマ エツジ) 小山 悦司 (H24年9月) (ハマイエ テルオ) 濱家 輝雄 (H27年4月)	体調不良による交代 (25) 任期満了による交代 (27)
経営情報 学科主任	(ゴトウ ユタカ) 後藤 裕 (H23年4月)	(ワタダニ シンゴ) 渡谷 真吾 (H23年10月) 経営情報学科長	体調不良により退職 (24) 職名変更(25)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
産業科学技術学部 経営情報学科 学士(産業科学技術)	4年	50 95	3年次 2 4	200 204 388	経営情報学科 平成24年6月収容定員変更届出済(25) 3年次編入学定員 0→2名 収容定員 200→204名 収容定員変更(26) 入学定員 50→95名 3年次編入学定員 2→4名 収容定員 204→388名

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期
A 入学定員	60 () []		50 () []		50 (2) []		95 (4) []		95 (4) []	
志願者数	63 () [43]		78 () [36]		42 () [7]		48 (4) [6]		65 (1) [12]	
受験者数	60 () [42]		78 () [36]		41 () [6]		47 (4) [6]		65 (1) [12]	
合格者数	55 () [37]		72 () [32]		40 () [6]		47 (4) [6]		64 (1) [11]	
B 入学者数	43 () [31]		44 () [20]		29 () [5]		31 (4) [6]		40 (1) [10]	
入学定員超過率 B/A	0.71		0.88		0.58		0.32		0.42	

区分	対象年度	平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
A 入学定員				
志願者数				
受験者数		0.55倍	0.58倍	
合格者数				
B 入学者数				
入学定員超過率 B/A				

- (注)
- ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 - ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[20] (-) 44	[-] (-) -	[5] (-) 29	[-] (-) -	[6] (-) 31	[-] (-) -	[10] (-) 40	[-] (-) -	産業科学技術学部観光学科より転学科3年次(留学生1名)・3年次編入学生4名(内留学生3名)(25) 3年次編入学生4名(内留学生4名)・4年次再入学生1名(内留学生1名)・3年次再入学生1名(内留学生1名)(26) 3年次編入学生1名(内留学生1名)(27)
2年次	/		[18] (-) 41	[-] (-) -	[5] (-) 27	[-] (-) -	[4] (-) 29	[-] (-) -	
3年次	/		/		[24] (6) 50	[-] (-) -	[5] (1) 27	[-] (-) -	
4年次	/		/		/		[21] (2) 44	[-] (-) -	
計	[20] (-) 44	[-] (-) -	[23] (-) 70	[-] (-) -	[35] (6) 108	[-] (-) -	[40] (3) 140	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	44 人	6 人	平成24年度	3 人	2 人	家庭の事情(1名)、兵役義務(1名)、就学意欲の 低下(1名)	0.1 %
			平成25年度	1 人	人	就業意欲の低下(1名)	
			平成26年度	2 人	人	経済的困難(1名)、学生個人の心身に関する 事情(1名)	
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	29 人	4 人	平成25年度	2 人	人	経済的困難(1名)、就学意欲の低下(1名)	0.1 %
			平成26年度	2 人	2 人	経済的困難(1名)、その他(1名)	
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	31 人	2 人	平成26年度	2 人	2 人	他の教育機関への入学・転学(1名)、 就職(1名)	0.1 %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	40 人	0 人	平成27年度	人	人		0.0 %
合 計	144 人	12 人					0.1 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<産業科学技術学部 経営情報学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	哲学	1・2・3・4		2		1					兼1	担当者転属による変更(26) 担当 西川高史(教授) 担当者退職のため今年度開講せず(24)
	文学	1・2・3・4		2			1				兼1 兼1	担当者追加(25) 担当 江原雅江(兼担) 担当者転属による変更(26) 担当 江原雅江(准教授) 担当者転属による変更(26)
	歴史学	1・2・3・4		2		1					兼2 兼1	担当者転属による変更(26) 担当 時任英人(教授) 担当者退職のため削除(27)
	日本語表現	1・2・3・4		2							兼1	担当者転属による変更(26)
	宗教学	1・2・3・4		2		1					兼1	担当者転属による変更(26) 担当 西川高史(教授)
	社会と言語心理学	1・2・3・4		2							兼1 兼1	
	政治学	1・2・3・4		2		1					兼1	担当者転属による変更(26) 担当 時任英人(教授)
	環境と社会	1・2・3・4		2		1					兼1	担当者転属による変更(26) 担当 塩飽直紀(兼担)
	日本国憲法	1・2・3・4		2		1					兼1	
	法学	1・2・3・4		2		1					兼1	担当者転属による変更(26) 担当 塩飽直紀(兼担)
	経済学	1・2・3・4		2		1					兼1	
	物理学	1・2・3・4		2							兼2	担当者変更(24) 担当 杉山宣彦(兼任)
	化学	1・2・3・4		2							兼1	
	人間と環境	1・2・3・4		2							兼1	
	地球科学	1・2・3・4		2							兼2	担当者退職のため担当者変更及び役職変更(24) 担当 岡本宏(兼任) 渡辺守(兼任)
	数学	1・2・3・4		2		2 1					兼2 兼1	担当者調整(25) 担当者追加(26) 担当 中川重和(教授)
	世界と日本	1・2・3・4		2							兼1	担当者転属による変更(26) 担当 時任英人(教授)
	アジアの政治文化	1・2・3・4		2		1					兼1	担当者変更(27) 担当 濱家輝雄(教授) 担当者退職のため今年度開講せず(24)
	マスコミ論	1・2・3・4		2		1					兼1	担当者追加(25) 担当者—加納直子(兼任) 担当者変更(26) 担当 水田直美(兼担)
	文章表現法	1・2・3・4		2							兼1 兼1	担当者転属による変更(26) 担当 赤木恒雄(教授)
	人間の発達と形成	1・2・3・4		2		1					兼1	担当者変更(25) 担当者 吾妻寛穂(兼任)
日本の伝統芸能	1・2・3・4		2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	芸術と科学の協調	1後 2後 1後		2								教育効果を考慮し配当年次を変更(23) 教育効果を考慮し配当年次を変更(24) 担当者変更(23) 担当—加藤敬史(兼任) 担当者削除(27) 担当者変更(25) 担当者 黒田明雄(兼担) 担当者転属による変更(26) 担当者 黒田明雄(講師)
	人生と仕事Ⅰ 倉敷と仕事	1	2	2		2		1				兼一 兼二 教育課程の充実のため、 科目名称変更・科目区分変更 ・担当者追加(27) 担当者 小山悦司(教授) 近藤研二(兼担) 濱家輝雄(教授) 宮野善盛(兼担)
	人生と仕事Ⅱ 人生と仕事	2		2		1						兼一 教育課程の充実のため、 科目名称変更・担当者変更 (27) 担当者 赤木恒雄(教授) 担当者追加(23) 担当 岡野喜良(教授) 時任英人(兼担) 大野英志(兼担) 津野熊総一郎(兼任)
	キャリア・ラーニング	3前		2		1 2 1 2						兼一 兼三 兼二 兼一 担当者変更(24) 担当 水田直美(兼担) 担当者変更(25) 担当—中川重和(教授) 担当者削除(26) 担当者転属による変更(26) 担当 時任英人(教授) 科目廃止(27) 科目廃止(27)
	キャリア・チャレンジⅠ	2前		1		1						
	キャリア・チャレンジⅡ	2後		1		1						
	基本数学	1		2								兼一 担当者追加(26)
	基本英語	1		2			1					兼一 兼二 担当 江原雅江(准教授) 長井龍月(兼任) 担当者削除(27)
	基本化学	1		2								兼一
	基本物理	1		2								兼一
	倉敷まちづくり基礎論	1後 1前		2		1						兼一 教育効果を考慮して開講期を変更 担当者変更(24) 担当—児島塊太郎(兼担) 担当者削除(27)
	倉敷まちづくり実践論	1後		2		1						兼一 担当者退職のため削除(27) 担当者変更及び追加(23) 担当—小出肇(兼担) 神田鉄平(兼担)
	まちづくりインターンシップ	2前		2		1 1						兼二 兼一 担当者調整(26) 担当 小山悦司(教授) 担当者追加(27) 担当 谷川真利子(兼任)
	地域貢献実践	3前		1								教育課程充実の理由により、 科目を追加(27) 担当者調整中
	若衆実践演習	3・4		1								教育課程充実の理由により、 科目を追加(27) 担当者調整中

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 養 総 合 科 目	動物入門(生き物を科学する)	1後		2							兼 1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(23) 担当—古川敏紀(兼担) 担当者退職のため変更(27) 担当 田村勝利(兼担)
	医療入門(生き物を科学する)	1前		2							兼 1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当—大野英治(兼担) 担当者退職による変更(26) 担当—宮本朋幸(兼担) 担当者退職のため変更(27) 担当 坂口卓也(兼担)
	演劇と芸術	1・2・3・4		2							兼 1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当 森田亜紀(兼担) 担当者転属による変更(27) 担当 森田亜紀(兼任)
	現代の美術	1・2・3・4		2							兼 1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当 濱坂渉(兼担) 担当者追加(25) 担当—松村麻太(兼任) 担当者調整(26)
	教養概論 I	1・2・3・4		1		1						兼 9 兼 10

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 養 総 合 目	教養概論Ⅱ	1・2・3・4		1		1						教育課程充実の理由により、 科目を追加(25) 担当 家住—利男(兼担) 大林—誠(兼担) 近藤—研二(兼担) 濱家—輝雄(兼担) 奥本—寛(兼担) 浅川—富美雪(兼担) 古川—敏紀(兼担) 大野—英治(兼担) 内藤—整(兼担) 兼—9 兼10 担当者変更(26) 担当 柳田宏治(兼担) 神原正明(兼担) 坂口卓也(兼担) 担当者変更(27) 担当 赤木恒雄(兼担) 井手康人(兼担) 梶浦文夫(兼担) 後藤秀典(兼担) 佐藤恒夫(兼担) 妹尾護(兼担)
	教養概論Ⅲ	1・2・3・4		2		1						教育課程充実の理由により、 科目を追加(25) 担当 家住—利男(兼担) 大林—誠(兼担) 近藤—研二(兼担) 濱家—輝雄(兼担) 奥本—寛(兼担) 浅川—富美雪(兼担) 古川—敏紀(兼担) 大野—英治(兼担) 内藤—整(兼担) 兼—9 兼10 担当者変更(26) 担当 柳田宏治(兼担) 神原正明(兼担) 坂口卓也(兼担) 担当者変更(27) 担当 赤木恒雄(兼担) 井手康人(兼担) 梶浦文夫(兼担) 後藤秀典(兼担) 佐藤恒夫(兼担) 妹尾護(兼担)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合	教養概論Ⅳ	1・2・3・4		2		1						教育課程充実の理由により、科目を追加(25) 担当 家住一利男(兼担) 大林一誠(兼担) 近藤一研二(兼担) 濱家一輝雄(兼担) 奥本一寛(兼担) 浅川一富美雪(兼担) 古川一敏紀(兼担) 大野一英治(兼担) 内藤 整(兼担) 兼-9 兼10 担当者変更(26) 担当 柳田宏治(兼担) 神原正明(兼担) 坂口卓也(兼担) 担当者変更(27) 担当 赤木恒雄(兼担) 井手康人(兼担) 梶浦文夫(兼担) 後藤秀典(兼担) 佐藤恒夫(兼担) 妹尾護(兼担)
	英語Ⅰ	1前	2			1	2				兼-4 兼3 担当者退職及び転属による変更(26) 担当 江原雅江(准教授) 大野英志(准教授) 谷川真利子(兼任) 長井龍月(兼任) 担当者退職及び転属による変更(26) 兼-4 兼3 担当 江原雅江(准教授) 大野英志(准教授) 兼1 兼1 担当者追加(23) 担当 藤高邦宏(兼担) 担当者退職及び転属による変更(26) 兼-1 兼-2 兼1 担当 大野英志(准教授) 長井龍月(兼任) Glenn Sumner(兼任) 担当者削除(27) 担当者調整(23) 担当者退職及び転属による変更(26) 兼-2 兼1 担当 江原雅江(准教授) 大野英志(准教授) Glenn Sumner(兼任)	
教養科目	英語Ⅱ	1後	2			1	2				兼-4 兼3 担当者退職及び転属による変更(26) 兼1 兼1 担当者追加(23) 担当 藤高邦宏(兼担) 担当者退職及び転属による変更(26) 兼-1 兼-2 兼1 担当 大野英志(准教授) 長井龍月(兼任) Glenn Sumner(兼任) 担当者削除(27) 担当者調整(23) 担当者退職及び転属による変更(26) 兼-2 兼1 担当 江原雅江(准教授) 大野英志(准教授) Glenn Sumner(兼任)	
	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	1前 1後	2 2								兼1 兼1 担当者追加(23) 担当 藤高邦宏(兼担) 担当者退職及び転属による変更(26) 兼-1 兼-2 兼1 担当 大野英志(准教授) 長井龍月(兼任) Glenn Sumner(兼任) 担当者削除(27) 担当者調整(23) 担当者退職及び転属による変更(26) 兼-2 兼1 担当 江原雅江(准教授) 大野英志(准教授) Glenn Sumner(兼任)	
	英会話Ⅰ	1前	2			1	1				兼-1 兼-2 兼1 担当者追加(23) 担当 藤高邦宏(兼担) 担当者退職及び転属による変更(26) 兼-1 兼-2 兼1 担当 大野英志(准教授) 長井龍月(兼任) Glenn Sumner(兼任) 担当者削除(27) 担当者調整(23) 担当者退職及び転属による変更(26) 兼-2 兼1 担当 江原雅江(准教授) 大野英志(准教授) Glenn Sumner(兼任)	
	外国語 英会話Ⅱ	1後	2			1	2				兼-2 兼1 担当者追加(23) 担当 藤高邦宏(兼担) 担当者退職及び転属による変更(26) 兼-1 兼-2 兼1 担当 大野英志(准教授) 長井龍月(兼任) Glenn Sumner(兼任) 担当者削除(27) 担当者調整(23) 担当者退職及び転属による変更(26) 兼-2 兼1 担当 江原雅江(准教授) 大野英志(准教授) Glenn Sumner(兼任)	
	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	1前 1後	2 2								兼1 兼1 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 兼1 担当 河智弘(兼任)	
	ハンゲルⅠ	1前	2								兼1 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 兼1 担当 河智弘(兼任)	
	ハンゲルⅡ	1後	2								兼1 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 兼1 担当 河智弘(兼任)	
	フランス語Ⅰ	1前	2								兼1 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 兼1 担当 太田陽子(兼任)	
	フランス語Ⅱ	1後	2								兼1 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 兼1 担当 太田陽子(兼任)	
	日本語Ⅰ	1前	2								兼-2 兼1 担当者変更(26) 兼-2 兼1 担当 西川格(兼任) 担当者削除(27)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	日本語Ⅱ	1後	2								兼2 兼1 担当者変更(26) 担当—西川格(兼任) 担当者削除(27) 担当者変更(25) 担当—桑原直子(兼任) 担当者変更(27) 担当 小西裕美(兼任) 担当者変更(25)
	日本語会話Ⅰ	1前	2							兼2 担当者変更(25) 担当—桑原直子(兼任) 担当者変更(27) 担当 小西裕美(兼任) 担当者変更(25)	
	日本語会話Ⅱ	1後	2							兼2 担当—桑原直子(兼任) 担当者変更(27) 担当 小西裕美(兼任) 担当者変更(25) 担当—桑原直子(兼任) 担当者変更(26)	
	日本語理解Ⅰ	1前	2							兼2 担当—小西裕美(兼任) 担当者変更(27) 担当 黒田明雄(兼任) 児玉正子(兼任) 担当者変更(25) 担当—桑原直子(兼任) 担当者変更(26)	
	日本語理解Ⅱ	1後	2							兼2 担当—小西裕美(兼任) 担当者変更(27) 担当 黒田明雄(兼任) 児玉正子(兼任)	
	保健体育概論	1		2						兼4 兼3 兼2 担当者退職(23) 担当者追加(24) 担当—飯田智行(兼担) 担当者退職による削除(26) 担当者体調不良により 担当者変更(23) 担当—高原皓全(兼任) 担当者変更(24)	
	保健体育実技Ⅰ	1前		2						兼4 兼3 兼2 担当 経遠雄三(兼担) 久米夫祐(兼任) 担当者変更(25) 担当 石田博也(兼任) 担当者退職(27) 担当者変更(24)	
	保健体育実技Ⅱ	1後		2						兼4 兼3 兼2 担当—久米夫祐(兼任) 担当者変更(25) 担当 石田博也(兼任) 担当者退職(27)	
	経営学概論	1前	2			1					兼1 担当者退職のため担当教員 変更(24) 担当 紀本明宏 担当者の学園内異動のため 担当教員変更(24)
	簿記論	1後	2	2			1				兼1 担当 堤一浩(兼任) 教育効果を考慮し履修方法 の変更(26) 担当者の学園内異動のため 担当教員変更(24)
簿記論演習	2前		2			1				兼1 担当 堤一浩(兼任) 教育効果を考慮し履修方法 及び担当者転属による変更 (26)	
経済学原論Ⅰ(マクロ)	2前	2	2		1					兼1 担当 塩飽直紀(兼担) 担当者転属による変更(26)	
経済学原論Ⅱ(ミクロ)	2後		2		1					兼1 担当 塩飽直紀(兼担) 教育効果を考慮し履修方法 の変更(26)	
民法総論	1前	2	2		1					兼1 教育効果を考慮し履修方法 の変更(26)	
商法総論	1後	2	2		1					兼1 教育効果を考慮し履修方法 の変更(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目 共通科目	政治学史	3前		2		1						兼 1 教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24) 科目の充実を図るため、科目区分を関連科目へ変更及び担当者転属による変更(26) 担当 時任英人(教授)
	国際政治学	3前 3後		2								兼 1 教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24) 教育効果を考慮し配当年次の変更及び担当者転属による変更(26) 担当 時任英人(教授)
	海外事情Ⅰ(アジアⅠ)	1後		2								兼 1 科目統合のため廃止(24)
	国際地域論Ⅰ(日本)	1後		2								兼 1 教育課程充実のため、科目を追加(24) 担当 時任英人(兼任)
	海外事情Ⅱ(アジアⅡ)	2前		2								兼 1 科目の充実を図るため、科目名称を変更(24)
	国際地域論Ⅱ(アジア)	2前		2								兼 1 科目廃止(26)
	海外事情Ⅲ(ヨーロッパ)	2後		2		1						兼 1 科目の充実を図るため、科目名称及び担当者を変更(24) 担当 渡辺肇(教授)
	国際地域論Ⅲ(ヨーロッパ)	2後		2								兼 1 科目廃止(26)
	海外事情Ⅳ(アメリカ)	3前		2								兼 1 科目の充実を図るため、科目名称を変更(24)
	国際地域論Ⅳ(アメリカ)	3前		2								兼 1 科目廃止(26)
	ビジネスと宗教	2後		2								兼 1 科目廃止(26)
	西洋思想概論	1後		2								兼 1 教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24) 科目の充実を図るため、科目区分を関連科目へ変更及び担当者変更(26) 担当 野村卓史(兼任)
	東洋思想概論	2前		2		1						兼 1 教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24) 科目の充実を図るため、科目区分を関連科目へ変更及び担当者転属による変更(26) 担当 西川高史(教授) 担当者追加(24) 担当 塩飽直紀(教授)
	岡山ビジネス研究 倉敷産業研究	2後		2		1 2 1			1			兼 1 科目の充実を図るため、科目名称及び担当者転属による変更(26) 担当 塩飽直紀(兼任) 担当者追加(27) 担当 黒田明雄(講師)
	コンピュータリテラシ	1前		2		1						兼 1 教育課程にインターネットコースを新設するため、科目区分を変更(26)
	コンピュータ基礎	1前		2		1						兼 1 担当者追加(24) 担当 馬場始三(兼任)
	情報システム基礎	1後		2		1						兼 1 教育課程にインターネットコースを新設及び教育効果を考慮し配当年次の変更(26) 担当者変更(26) 担当 下尾邦之(兼任)
	情報ネットワーク概論	1後		2		1						兼 1
	情報社会とモラル	2前		2		1						兼 1
	情報と職業	2後 2前		2		1						兼 1
知的財産権	3後		2								兼 1	
入門統計学	2前		2		1							
統計解析の基礎	2後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	地域づくり概論	1前	2								兼 1	教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 筒井 徹也(兼任)
	観光概論	1前	2					1				教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 芦田雅子(講師)
	ホスピタリティ論	2前		2							兼 2	教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 永井圭子(兼任) 岡荘一郎(兼任)
	プレゼンテーション論	2前		2		2						教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 小山悦司(教授) 濱家輝雄(教授)
	事業企画論	3前		2							兼 1	教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 筒井徹也(兼任)
	地域政策論	2後		2							兼 1	担当者調整中 担当者調整(27) 担当 畠平泰彦(兼任)
専攻科目	企業経営コース及び危機管理コース	企業経営論	3前		2		1					教育課程に危機管理コースを新設するため、企業経営コース及び危機管理コースに変更(24) 教育課程に総合ビジネスコースを新設するため、科目区分を変更(26)
	企業経営コース	会社法	2前		2		1					教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更(24) 教育課程に総合ビジネスコースを新設するため、科目区分を変更(26)
	企業経営コース及びMBA取得留学コース	人事経営論 人事管理論	3後		2		1					企業経営コース及びMBA取得留学コースに変更及び担当者変更(24) 教育課程に総合ビジネスコースを新設及び科目充実を図るため、科目名称及び科目区分を変更(26)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	企業経営コース及び危機管理コース 経営と倫理	2前		2		1						兼1 教育課程に危機管理コースを新設するため、企業経営コース及び危機管理コースに変更及び担当者変更(24) 担当—岡野喜良(教授) 担当者変更(25) 担当—安東一官(兼任) 教育課程に総合ビジネスコースを新設するため、科目区分を変更(26) 担当者変更(27) 担当 黒江正行(兼任)
	企業経営コース 経営戦略論	2前		2							兼1 教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更及び担当者変更(24) 担当 紀本明宏(兼任) 教育課程に総合ビジネスコースを新設するため、科目区分を変更(26)	
	アジアビジネス経営論	1後		2		1					兼1 教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更(24) 科目廃止(26)	
	金融論	2前		2		1					兼1 教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更(24) 科目廃止(26)	
	企業経営コース及び危機管理コース 経営資金調達論	2後		2		1					兼1 教育課程に危機管理コースを新設するため、企業経営コース及び危機管理コースに変更及び担当者変更(24) 担当 渡辺肇(教授) 科目廃止(26)	
企業経営コース 地域金融産業論	2前		2							兼1 教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更(24) 科目廃止(26)		
企業経営コース 投資銀行実務入門	3前 2前		2		1					兼1 教育効果を考慮し配当年次の変更及び科目区分を共通科目へ変更(24) 科目廃止(26)		
企業経営コース 金融実務論	3前 2後		2		1					兼1 教育効果を考慮し配当年次、開講期の変更及び科目区分を共通科目へ変更及び担当者退職により担当者(24) 担当—梶分守(兼任) 教育課程に総合ビジネスコースを新設するため、科目区分を変更(26) 担当者変更(27) 担当 藤井功(兼任)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻科目	企業経営コース 金融実務特論 金融概論	3前 2前		2		1					兼1 教育効果を考慮し配当年次の変更及び科目区分を共通科目へ変更及び担当者退職により担当者(24) 担当—二階堂一比古(非) 科目の充実を図るため、科目名称及び科目区分を共通科目へ変更及び担当者変更(26) 担当—裾分守(兼任) 担当者変更(27) 担当 藤井功(兼任)
	証券外務員論	3前		2		1				兼1 教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更及び担当者退職により担当者未定(24) 科目廃止(26)	
	企業経営コース及びMBA取得留学コース サービス産業論	1前		2						兼1 教育課程充実のため、科目を追加(24) 担当 岡本直樹(兼任) 教育課程に総合ビジネスコースを新設するため、科目区分を変更(26)	
	消費者行動論	3後		2						兼1 教育課程充実のため、科目を追加(24) 担当 岡本直樹(兼任) 教育課程に総合ビジネスコースを新設するため、科目区分を変更(26)	
	情報システムコース プログラミング基礎	1後		2		1				兼1 教育課程にインターネットコースを新設するため、科目区分を変更(26)	
	アルゴリズム	2前		2		1				兼1 教育課程にインターネットコースを新設するため、科目区分を変更(26)	
	経営情報学実験Ⅰ 情報科学実験	2後		1		1				兼1 教育課程にインターネットコースを新設及び教育課程充実のため、科目名称及び科目区分を変更(26)	
	経営情報学実験Ⅱ 情報システム実験	3前		1		1				兼1 教育課程にインターネットコースを新設及び教育課程充実のため、科目名称及び科目区分を変更(26)	
	情報システムコース及び危機管理コース 経営情報学実験Ⅲ 情報ネットワーク実験	3後		1		1				兼1 教育課程にインターネットコースを新設及び教育課程充実のため、科目名称及び科目区分を変更(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	コンピュータグラフィックス実習	2前		1		1						教育課程にインターネットコースを新設するため、科目区分を変更(26)
	情報デザイン概論	2後 2前		2							兼 1	教育課程にインターネットコースを新設するため、科目区分を変更(26)
	ユニバーサルデザイン論	3前		2							兼 1	教育効果を考慮し科目区分を共通科目へ変更(26)
	認知科学概論	3前		2							兼 1	科目廃止(26)
	データベース データ管理と情報検索	2後		2		1						教育課程にインターネットコースを新設及び教育課程充実のため、科目名称及び科目区分を変更(26)
	情報ネットワーク	2前		2		1						教育課程にインターネットコースを新設するため、科目区分を変更(26)
	情報セキュリティ	2後		2		1						教育課程にインターネットコースを新設するため、科目区分を変更(26)
	旅行危機管理概論	1後		2				1			兼 1	教育課程に危機管理コースを新設するため、科目を追加(24) 担当 芦田雅子(兼担) 教育課程に観光コースを新設するため、科目区分を変更及び担当者転属による変更(26) 担当 芦田雅子(講師) 教育課程に危機管理コースを新設するため、科目を追加(24)
	インターネット旅行情報概論 インターネット情報概論	2後		2		1					兼 1	担当 中島道夫(兼担) 科目の充実を図るため、科目名称及び科目区分を共通科目へ変更、担当者死去のため調整中(26) 担当者調整(27) 担当 村山公保(教授)
	放送概論	1前		2							兼 1	教育課程に危機管理コースを新設するため、科目を追加(24) 担当 濱家輝雄(兼担) 科目廃止(26)
リスクマネジメント	3前		2							兼 1	教育課程に危機管理コースを新設するため、科目を追加(24) 担当 未定 科目廃止(26)	
保険論	3後		2							兼 1	教育課程に危機管理コースを新設するため、科目を追加(24) 担当 未定 科目廃止(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	企業経営コース及びMBA取得留学コース	MBAアカウンティング入門 会計学	2前	2			1					兼 1 担当者の学园内異動のため 担当教員変更(24) 担当 堤一浩(兼任) 科目の充実を図るため、科目 名称及び科目区分を共通科目 へ変更(26) 担当者退職のため役職の 変更(24)
		MBAリーダーシップ入門 リーダーシップ入門	3前	2			1					兼 1 担当 後藤裕(兼任) 科目の充実を図るため、科目 名称及び科目区分を共通科目 へ変更(26) 担当者退職のため役職の 変更(24)
		MBAマーケティング入門 マーケティングリサーチ	3前	2			1					兼 1 担当 後藤裕(兼任) 科目の充実を図るため、科目 名称及び科目区分を共通科目 へ変更(26)
	企業経営コース及びMBA取得留学コース	MBAファイナンス入門	2前	2			1					兼 1 担当者の学园内異動のため 担当教員変更(24) 担当 堤一浩(兼任) 担当者変更(25) 担当 安東 官(兼任) 科目廃止(26) 教育課程に総合ビジネスコー スを新設するため、科目区分 を変更(26)
		ビジネス法 I	3前	2			1					教育課程に総合ビジネスコー スを新設するため、科目区分 を変更(26)
		ビジネス法 II (国際法を含む)	3後	2			1					教育課程に総合ビジネスコー スを新設するため、科目区分 を変更(26)
	MBA取得留学コース	社会調査概論	2前	2			1					教育効果を考慮し科目区分 を共通科目へ変更(24) 教育課程に地域づくりコース を新設するため、科目区分を 変更及び担当者変更(26) 担当 中川重和(教授)
		調査と計画	2後	2			1					教育効果を考慮し科目区分 を共通科目へ変更(24) 教育課程に地域づくりコース を新設するため、科目区分を 変更及び担当者変更(26) 担当 中川重和(教授)
		社会調査実習	3後	4			1					教育効果を考慮し科目区分 を共通科目へ変更(24)
		データ解析	3前	2			1					教育効果を考慮し科目区分 を共通科目へ変更(24)
		ビジネス英語	2後	2								兼 1 教育効果を考慮し科目区分 を共通科目へ変更及び担当 者変更(24) 担当 紀本明宏(兼任) 科目廃止(26)
		MBA英語特論 I MBA英語特論 II	4前 4後	8 8			1 1					科目廃止(26) 科目廃止(26)
地域づくりコース	地域活性論 (地域経済)	3前	2								兼 1 教育課程に地域づくりコース を新設及び教育課程充実の ため、科目を追加(26) 担当 筒井徹也(兼任)	
	地域体験演習	3前	2					1			教育課程に地域づくりコース を新設及び教育課程充実の ため、科目を追加(26) 担当 芦田雅子(講師)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
地域づくりコース	ボランティアとNPO	2前		2								兼 2 兼 1 教育課程に地域づくりコースを新設及び教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 石原達也(兼任) 加藤せい子(兼任) 担当者削除(27)		
	瀬戸内の文化と観光	1後		2		1							教育課程に地域づくりコースを新設及び教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 濱家輝雄(教授)	
	まちづくりと生涯学習	2前		2		1							教育課程に地域づくりコースを新設及び教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 赤木恒雄(教授)	
専攻科目 観光コース	国内旅行業務論Ⅰ	1後		2				1				兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 教育課程に観光コースを新設及び教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 芦田雅子(講師)		
	国内旅行業務論Ⅱ	1後		2				1					教育課程に観光コースを新設及び教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 芦田雅子(講師)	
	総合旅行業務論Ⅰ	2前		2									教育課程に観光コースを新設及び教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 山下眞盛(兼任)	
	総合旅行業務論Ⅱ	2前		2									教育課程に観光コースを新設及び教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 山下眞盛(兼任)	
	ホテルマネジメント論	2後		2									教育課程に観光コースを新設及び教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当者調整中 担当者調整(27) 担当 安達精治(兼任)	
	ホテルマネジメント演習	3前		2										教育課程に観光コースを新設及び教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当者調整中
	旅行者心理学	2前		2										教育課程に観光コースを新設及び教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 中原靖之(兼任)
旅行ガイド演習	3前		2		1							教育課程に観光コースを新設及び教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当 濱家輝雄(教授)		
関連科目	実践日本語	1前		2								兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 教育課程に観光コースを新設するため、科目区分を変更(26) 担当者変更(27) 担当 守田均(兼任)		
	ビジネス日本語	2前		2									科目廃止(26)	
	日本語演習Ⅰ	1前		2									科目廃止(26)	
	日本語演習Ⅱ	1後		2									科目廃止(26)	
	観光社会学	2後		2									科目廃止(26)	
	芸術文化論	2後		2									担当者変更(27) 担当 守田均(兼任)	
	日本美術史	1後		2									科目廃止(26)	
	西洋美術史Ⅰ	2前		2									科目廃止(26)	
	西洋美術史Ⅱ	2後		2									科目廃止(26)	
	日本近代美術史	3前		2									科目廃止(26)	
文化財学概論	3前		2								担当者変更(27) 担当 守田均(兼任)			
デザイン史	3前		2								科目廃止(26)			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	インターンシップ	1後		8		1						科目廃止(26) 科目廃止(26) 教育課程充実のため、科目を追加(26) 担当者調整中 担当者調整(27) 担当 渡谷真吾(教授) 担当者変更(26) 担当 渡谷真吾(教授) 担当者調整(26) 担当 渡谷真吾(教授) 担当者調整(26) 担当 渡谷真吾(教授)
	インターンシップ概論	1後		4		1						
	インターンシップ	2前		4		1						
	プロジェクト実習Ⅰ	2後		1		3 1						
	プロジェクト実習Ⅱ	3後		1		3 1						
	プロジェクト実習Ⅲ	4後		1		3 1						
	関連科目	ITパスポート特論	1・2・3・4		2		5 1					教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24) 担当者調整(26) 担当 渡谷真吾(教授) 教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24) 担当者調整(26) 担当 渡谷真吾(教授) 教育効果を考慮し科目区分を関連科目へ変更(24) 担当者調整(26) 担当 渡谷真吾(教授)
		基本情報技術者特論	1・2・3・4		2		5 1					
		ITスペシャリスト特論	1・2・3・4		2		5 1					
	専攻科目	ゼミナールⅠ	1通	4			18 14 13 4	1 2	1			担当者の早期退職及び学園内の大学間異動により担当者数減(24) 担当者の定年退職により担当者数減(25) 担当者の定年退職による担当者変更(26) 担当 江原雅江(准教授) 大野英志(准教授) 芦田雅子(講師) 担当者の早期退職及び学園内の大学間異動により担当者数減(24) 担当者の定年退職により担当者数減(25) 担当者の定年退職により担当者数減(26) 担当者変更及び削除(27) 担当 西川高史(教授) 江原雅江(准教授) 黒田明雄(講師) 担当者の早期退職及び学園内の大学間異動により担当者数減(24) 担当者の定年退職により担当者数減(25) 担当者の定年退職により担当者数減(26) 担当者削除(27) 学園内の大学間異動により担当者数減(24) 担当者の定年退職により担当者数減(25) 担当者の定年退職により担当者数減(26) 担当者変更(26)
		ゼミナールⅡ	2通	4			18 14 13 9 5	1 1	1			
		ゼミナールⅢ	3通	4			16 12 8 7 5	1				
		卒業研究	4通	8			12 5 7	1				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
19	122		141	19	123		142	
				22	137		156	
				23	141		160	
					132		154	
					131			
				[]	[+1]	[]	[+1]	
				[]	[+15]	[]	[+15]	
				[]	[+18]	[]	[+18]	
				[+3]	[+9]	[]	[+12]	
				[+4]	[+8]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	海外事情 I (アジア 1)	2	1後	専門	選択	平成23年度入学生のカリキュラムから廃止とし、2年次以上の在學生に対しては、同学部の観光学科にて開講してる科目を履修するよう指導する。代替科目として平成23年度入学生には「国際地域論Ⅱ(アジア)」を2年次に開講する。
2	アジアビジネス経営論	2	1後	専門	選択	
3	地域金融産業論	2	2前	専門	選択	
4	投資銀行実務入門	2	2前	専門	選択	
5	証券外務員論	2	3前	専門	選択	
6	NBAファイナンス入門	2	2後	専門	選択	
7	NBA英語特論Ⅰ	8	4前	専門	選択	
8	NBA英語特論Ⅱ	8	4後	専門	選択	
9	インターンシップ	8	1後	専門	選択	
10	インターンシップ概論	4	1後	専門	選択	
11	日本美術史	2	1前	専門	選択	
12	西洋美術史Ⅰ	2	1前	専門	選択	
13	西洋美術史Ⅱ	2	1後	専門	選択	
14	日本近代美術史	2	3前	専門	選択	
15	デザイン史	2	1前	専門	選択	
16	国際地域論Ⅰ(日本)	2	1後	専門	選択	
17	国際地域論Ⅱ(アジア)	2	2前	専門	選択	
18	国際地域論Ⅲ(ヨーロッパ)	2	2後	専門	選択	
19	国際地域論Ⅳ(アメリカ)	2	3前	専門	選択	
20	リスクマネジメント	2	3前	専門	選択	
21	保険論	2	3後	専門	選択	
22	放送概論	2	1前	専門	選択	
23	認知科学概論	2	3前	専門	選択	
24	ビジネス英語	2	2後	専門	選択	
25	金融論	2	2前	専門	選択	
26	ビジネスと宗教	2	2後	専門	選択	
27	キャリア・チャレンジⅠ	1	2前	一般	選択	
28	キャリア・チャレンジⅡ	1	2後	一般	選択	

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【大学の所見】

海外諸事情Ⅰ（アジアⅠ）について、科目統合を目的とした廃止とし、新たに海外諸事情Ⅱ（アジアⅡ）を国際地域論Ⅱ（アジア）と科目名称を変更して教育の充実を図る。

アジアビジネス経営論・地域金融産業論・投資銀行実務入門・証券外務員論・MBAファイナンス入門・MBA英語特論Ⅰ・MBA英語特論Ⅱ・インターンシップ・インターンシップ概論・日本美術史・西洋美術史Ⅰ・西洋美術史Ⅱ・日本近代美術史・デザイン史・国際地域論Ⅰ（日本）・国際地域論Ⅱ（アジア）・国際地域論Ⅲ（ヨーロッパ）・国際地域論Ⅳ（アメリカ）・リスクマネジメント・保険論・放送概論・認知科学概論・ビジネス英語・金融論・ビジネスと宗教について、カリキュラムの見直し（地域づくりコース・インターネットコース・観光コース・総合ビジネスコースの4コースを設置）を行うために廃止とし、教育の充実を図る。

キャリア・チャレンジⅠ、キャリア・チャレンジⅡについて、新設科目の「地域貢献実践、若衆実践演習」に統合し、教育の充実を図る。

【学生への周知方法】

選択科目につき、卒業までに履修できるよう開講すること（同学部観光学科等において開講）で、学生への影響はないと思われる。オリエンテーション、シラバス、授業時間割等で廃止等の科目を周知している。

学生への影響がないようオリエンテーション、シラバス、授業時間割等で廃止科目の「キャリア・チャレンジⅠ、キャリア・チャレンジⅡ」、新設科目の「地域貢献実践、若衆実践演習」について周知している。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.18}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	隣接する同一法人内の 倉敷 食と器 専門学校の 廃止に伴う、校舎敷 地の移管のため。ま た、隣接する総合医療 教育センターを結ぶ道 路を倉敷市により新設 されることになり、新 設道路の土地及び既存 道路の土地を倉敷市に 譲渡し、道路の維持管 理を委任。(25)			
	校 舎 敷 地	133,308.98㎡ 135,599.71㎡	㎡	㎡	133,308.98㎡ 135,599.71㎡				
	運 動 場 用 地	85,876.00㎡	㎡	㎡	85,876.00㎡ 80,043.00㎡				
	小 計	219,184.98㎡ 221,475.71㎡	㎡	㎡	219,184.98㎡ 215,642.71㎡				
	そ の 他	28,483.00㎡	㎡	㎡	28,483.00㎡				
	合 計	247,667.98㎡ 249,958.71㎡	㎡	㎡	247,667.98㎡ 244,125.71㎡				
(2) 校 舎	専 用	44,259.54㎡ 44,274.06㎡ 46,224.80㎡	㎡	㎡	44,259.54㎡ 44,274.06㎡ 46,224.80㎡	11号館トイレ増築(24) 隣接する同一法人内の 倉敷 食と器 専門学校の 廃止に伴う、校舎の 移管のため。また、大 学内の厚生会館(食 堂)の座席数を増や し、学生へのサービス 向上を目的に増築。 (25)			
	(- 44,259.54㎡) - 44,274.06㎡) (46,224.80㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(- 44,259.54㎡) - 44,274.06㎡) (46,224.80㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設	大学全体(22) 当該学科所属(23)			
	3-2室 0	2-8室 12	9-3室 6	1-0室 0 (補助職員 0人)	1室 0 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成24年4月早期退			
	産業科学技術学部 経営情報学科			19 14 17	室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	追加購入及び管理変更 のため(23) 追加購入及び管理変更 のため(24) 追加購入及び管理変更 のため(25) 追加購入及び管理変更 のため(26) 追加購入及び管理変更 のため(27)	
	経営情報学科	14,246 [2,902] (14,246 [2,902]) (19,997 [3,733]) (20,761 [3,778]) (21,528 [3,800]) (25,058 [4,020]) (25,860 [3,991])	88 [33] (88 [33]) (90 [33]) (80 [30]) (138 [41]) (151 [54])	8 [8] (8 [8]) (9 [9]) (12 [12]) (4 [4])	157 (157) (181) (182) (366) (384)	8,282 (8,282) (5,976) (4,161) (3,870) (2,597)	0 (0)		
	計	14,246 [2,902] (14,246 [2,902]) (19,997 [3,733]) (20,761 [3,778]) (21,528 [3,800]) (25,058 [4,020]) (25,860 [3,991])	88 [33] (88 [33]) (90 [33]) (80 [30]) (138 [41]) (151 [54])	8 [8] (8 [8]) (9 [9]) (12 [12]) (4 [4])	157 (157) (181) (182) (366) (384)	8,282 (8,282) (5,976) (4,161) (3,870) (2,597)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	㎡								
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	㎡								
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	共同研究費等につい ては、見込を誤った ため。また、図書費、 設備購入費については、 購入物品を変更した ため(24)
		教員1人当り研究費等	教授1,277千円 准教授・講師 1,140千円	教授1,277千円 准教授・講師 1,140千円	図書購入費	800千円	200千円 148千円	400千円	
	共同研究費等	2,000千円 3,362千円	2,000千円	設備購入費	2,800千円	700千円 1,505千円	1,400千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,298千円	第2年次 1,078千円	第3年次 1,078千円	第4年次 1,078千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、私立大学等経常費補助金 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	倉敷芸術科学大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院 (芸術研究科)								岡山県倉敷市 連島町西之浦	
美術専攻修士課程	2	10	—	20	修士(芸術)	0.25	平成11年度	2640番地	
工芸専攻修士課程	2	10	—	20	修士(芸術)	0.20	平成11年度		
芸術研究科修士課程 計						0.22			
芸術制作表現専攻 博士(後期)課程	3	4	—	12	博士(芸術)	0.50	平成13年度		
芸術研究科博士課程 計						0.50			
(産業科学技術研究科)									
計算機科学専攻修士課程	2	8	—	16	修士(産業科学技術)	0.00	平成11年度		
機能物質化学専攻修士課程	2	8	—	16	修士(産業科学技術)	0.81	平成11年度		
産業科学技術研究科修士課程 計						0.40			
計算機科学専攻 博士(後期)課程	3	2	—	6	博士(工学)	0.16	平成13年度		
機能物質化学専攻 博士(後期)課程	3	2	—	6	博士(工学)	0.00	平成13年度		
産業科学技術研究科博士課程 計						0.08			
(人間文化研究科)									
人間文化専攻修士課程	2	15	—	30	修士(学術)	0.23	平成11年度		
人間文化研究科 計						0.23			
大学院(通信制) (芸術研究科)									
美術専攻(通信制)修士課程	2	10	—	20	修士(芸術)	0.20	平成14年度		
芸術研究科 計						0.20			
(産業科学技術研究科)									
機能物質化学専攻(通信制)修士課程	2	20	—	40	修士(産業科学技術)	0.00	平成14年度		
産業科学技術研究科 計						0.00			
(人間文化研究科)									
人間文化専攻(通信制)修士課程	2	30	—	60	修士(学術)	0.08	平成14年度		
人間文化研究科 計						0.08			

大学の名称	倉敷芸術科学大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入 学 員	収 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学 (芸術学部)								岡山県倉敷市 連島町西之浦	
美術工芸学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成20年度	2640番地	平成26年度より学生募集 停止
			3年次						
メディア映像学科	4	50	2	154	学士(芸術)	1.09	平成16年度		平成26年度入学定員増 (15名)
デザイン芸術学科	4	55	—	160	学士(芸術)	0.76	平成20年度		平成26年度入学定員増 (20名)
芸術学部 計						0.92			
(産業科学技術学部)									
			3年次						
観光学科	4	—	—	—	学士(産業科学技術)	—	平成20年度		平成26年度より学生募集 停止
			3年次						平成26年度より3年次 編入学生募集停止
経営情報学科	4	95	4	261	学士(産業科学技術)	0.55	平成23年度		平成26年度入学定員増 (45名)
産業科学技術学部 計						0.55			平成26年度3年次編入学 定員増(2名)
(生命科学部)									
生命科学科	4	50	—	185	学士(生命科学)	1.08	平成16年度		平成26年度入学定員増 (5名)
健康科学科 健康科学専攻	4	55	—	220	学士(健康科学)	0.91	平成16年度		平成26年度入学定員増 (30名)
鍼灸専攻	4	30	—	30					
			3年次						
動物生命科学科	4	60	2	259	学士(生命科学)	0.94	平成18年度		平成26年度入学定員減 (5名)
生命医科学科	4	50	—	195	学士(生命科学)	1.09	平成20年度		
健康医療学科	4	—	—	—	学士(健康科学)	—	平成23年度		平成26年度より学生募集 停止
生命科学部 計						1.00			
学部(通信教育課程)									
(産業科学技術学部)			2年次						
IT科学科	4	—	—	—	学士(産業科学技術)	—	平成15年度		平成21年度より学生募集 停止
			3年次						
			—						

大学の名称	岡山理科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院									
理学研究科修士課程						0.63		岡山県岡山市北区	
応用数学専攻修士課程	2	6	—	12	修士（理学）	0.91	昭和55年度	理大町1番1号	
化学専攻修士課程	2	16	—	32	修士（理学）	0.59	昭和49年度		
応用物理学専攻修士課程	2	13	—	26	修士（理学）	0.42	昭和49年度		
総合理学専攻修士課程	2	12	—	24	修士（理学）	0.58	昭和63年度		
生物化学専攻修士課程	2	13	—	26	修士（理学）	0.72	平成4年度		
臨床生命科学専攻修士課程	2	12	—	24	修士（理学）	0.74	平成20年度		
動物学専攻修士課程	2	4	—	8	修士（理学）	0.62	平成24年度		
理学研究科博士課程（後期）						0.20			
応用数学専攻 博士課程（後期）	3	4	—	12	博士（理学）	0.08	昭和62年度		
材質理学専攻 博士課程（後期）	3	9	—	27	博士（理学）	0.25	昭和53年度		
工学研究科修士課程						0.51			
応用化学専攻修士課程	2	13	—	26	修士（工学）	0.30	平成2年度		
機械システム工学専攻 修士課程	2	13	—	26	修士（工学）	0.53	平成2年度		
電子工学専攻修士課程	2	8	—	16	修士（工学）	0.43	平成2年度		
情報工学専攻修士課程	2	10	—	20	修士（工学）	0.35	平成8年度		
知能機械工学専攻 修士課程	2	8	—	16	修士（工学）	0.81	平成21年度		
生体医工学専攻修士課程	2	6	—	12	修士（工学）	0.66	平成23年度		
建築学専攻修士課程	2	8	—	16	修士（工学）	0.68	平成23年度		
工学研究科博士課程（後期）						0.26			
システム科学専攻 博士課程（後期）	3	5	—	15	博士（工学）	0.26	平成2年度		
総合情報研究科修士課程						0.75			
情報科学専攻修士課程	2	7	—	14	修士（総合情報）	0.64	平成13年度		
生物地球システム専攻 修士課程	2	7	—	14	修士（総合情報）	1.35	平成13年度		
社会情報専攻修士課程	2	6	—	12	修士（総合情報）	0.16	平成13年度		
総合情報研究科博士課程（後期）						1.00			
数理・環境システム専攻 博士課程（後期）	3	2	—	6	博士（学術）	1.00	平成15年度		

大学の名称	岡山理科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
学部									
理学部						1.18		岡山県岡山市北区	
応用数学科	4	95	—	370	学士（理学）	1.23	昭和39年度	理大町1番1号	
化学科	4	70	—	285	学士（理学）	1.22	昭和39年度		
応用物理学科	4				学士（理学）		昭和41年度		
物理科学専攻	4	30	—	120	学士（理学）	1.00	平成14年度		平成27年度より10名増
医用科学専攻	4	40	—	160	学士（理学）		平成14年度		平成27年度より10名減
基礎理学科	4	75	—	300	学士（理学）	1.18	昭和50年度		
生物化学科	4	85	—	340	学士（理学）	1.22	昭和63年度		
臨床生命科学科	4	85	—	340	学士（理学）	1.21	平成16年度		
動物学科	4	40	—	160	学士（理学）	1.17	平成20年度		
工学部						1.16			
バイオ・応用化学科	4	75	—	300	学士（工学）	1.20	昭和61年度		
機械システム工学科	4	85	—	340	学士（工学）	1.21	昭和61年度		
電気電子システム学科	4	70	—	280	学士（工学）	1.16	昭和61年度		
情報工学科	4	85	—	340	学士（工学）	1.24	平成4年度		
知能機械工学科	4	55	—	225	学士（工学）	0.97	平成17年度		
生体医工学科	4	60	—	240	学士（工学）	1.00	平成19年度		
建築学科	4	70	3年次 5	215	学士（工学）	1.23	平成23年度		
総合情報学部						1.19			
情報科学科	4	80	—	320	学士（総合情報学）	1.22	平成9年度		
生物地球システム学科	4	—	—	—	学士（総合情報学）	—	平成9年度		平成24年度より募集停止
社会情報学科	4	80	—	310	学士（総合情報学）	1.17	平成9年度		
建築学科	4		—	—	学士（総合情報学）	—	平成19年度		平成23年度より募集停止
生物地球学部						1.17			平成26年度より
生物地球学科	4	100	—	200	学士（理学）	1.17	平成24年度		生物地球学科20名増
(理学専攻科)									
応用数学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度		
化学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度		
応用化学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度		
応用物理学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度		
機械理学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度		
電子理学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度		
教職特別課程	1	50	—	50		0.28	平成2年度		

大学の名称	千葉科学大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院								千葉県銚子市 潮見町3番地	
薬学研究科									
薬学専攻									
博士課程	4	3	-	6	博士（薬学）	0.33	平成24年度		
薬科学専攻									
修士課程	2	10	-	20	修士（薬科学）	0.50	平成22年度		
博士課程（後期）	3	5	-	15	博士（薬科学）	0.00	平成22年度		
危機管理学研究科									
危機管理学専攻									
修士課程	2	5		10	修士（危機管理学）	1.20	平成20年度		
博士課程（後期）	3	3		9	博士（危機管理学）	0.33	平成22年度		
大学									
薬学部						0.97			6年制学科
						0.51			4年制学科
薬学科	6	120	-	770	学士（薬学）	0.97	平成18年度		H26年度4年次編入学募集 停止（△10人）
薬科学科	4	-	-	-	学士（薬科学）	-	平成18年度		H22年度募集停止、学生の 卒業を待って廃止
生命薬科学科	4	40	-	180	学士（生命薬科学）	0.51	平成22年度		
危機管理学部						0.85			
危機管理システム学科	4	100	-	410	学士（危機管理）	0.92	平成16年度		H26年度3年次編入学募集 停止（△5人）
動物・環境システム学科	4	-	-	-	学士（危機管理）	-	平成21年度		H24年度募集停止、学生の 卒業を待って廃止
環境危機管理学科	4	40	-	80	学士（危機管理）	0.72	平成24年度		H26年度3年次編入学募集 停止（△5人）
医療危機管理学科	4	80	-	330	学士（危機管理）	1.19	平成21年度		H26年度3年次編入学募集 停止（△5人）
工学技術危機管理学科	4	40	-	170	学士（危機管理）	0.21	平成22年度		
動物危機管理学科	4	40	-	80	学士（危機管理）	0.83	平成24年度		
看護学部						1.16			
看護学科	4	80	-	80	学士（看護学）	1.16	平成26年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<産業科学技術学部 経営情報学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専任	教授	藤原 敏勝 (70)	平成23年4月	ゼミナール I	専任	教授	藤原—敏勝 (70)	平成23年4月	ゼミナール I	藤原教授退職 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(24)	
専任	教授	尾高 好政 (67)	平成23年4月	社会調査概論 調査と計画 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III	専任	教授	尾高—好政 (69)	平成23年4月	社会調査概論 調査と計画 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III	尾高教授退職 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(26)	
					専任	教授	中川 重和 (51)	平成26年4月	社会調査概論 調査と計画		尾高教授退職のため平成26年度より担当者変更(26)
専任	教授	渡辺 守 (65)	平成23年4月	数学 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究	専任 兼任	教授 講師	渡辺—守 (67)	平成23年4月 平成24年4月	数学 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究	渡辺教授退職 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(24) 担当者調整(25)	
専任	教授	中本 太一 (65)	平成23年4月	キャリア・ラーニング 数学 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究	専任	教授	中本—太一 (65)	平成23年4月	キャリア・ラーニング 数学 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究	中本教授退職 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(24)	
					兼任	准教授	水田 直美 (49)	平成24年4月	キャリア・ラーニング		中本教授退職のため平成24年度より担当者変更(24)
					兼任	講師	岡本 宏 (63)	平成24年4月	数学		中本教授退職のため平成24年度より担当者変更(24)
専任	教授	小川 聰 (63)	平成23年4月	情報社会とモラル 経営情報学実験 I コンピュータグラフィックス実習 ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究	専任	教授	小川 聰 (67)	平成23年4月	情報社会とモラル 経営情報学実験 I 情報科学実験 コンピュータグラフィックス実習 ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III 卒業研究	科目名称変更(26)	
					専任	教授	渡谷 真吾 (51)	平成26年4月	ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論		担当者調整(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	小山 悦司 (58)	平成23年4月	キャリア・チャレンジⅠ キャリア・チャレンジⅡ 倉敷まちづくり実践論 まちづくりインターンシップ プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	小山 悦司 (62)	平成23年4月	キャリア・チャレンジⅠ キャリア・チャレンジⅡ 倉敷まちづくり実践論 まちづくりインターンシップ プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究 プレゼンテーション論 まちづくりインターンシップ 倉敷と仕事	担当科目追加(26) 担当科目追加(27)
					兼任	教授	小出 肇 (58)	平成23年4月	まちづくりインターンシップ	担当教員追加(23)
					兼任	准教授	神田 鉄平 (33)	平成23年4月	まちづくりインターンシップ	担当教員追加(23)
					専任	教授	小山 悦司 (62)	平成26年4月	まちづくりインターンシップ	担当者調整(26)
					専任	教授	渡谷 真吾 (51)	平成26年4月	プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ	担当者調整(26)
専任	教授	中川 重和 (47)	平成23年4月	社会調査実習 データ解析 ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	中川 重和 (51)	平成23年4月	社会調査実習 データ解析 ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究 キャリア・ラーニング 数学 社会調査概論 調査と計画	担当者調整(27) 担当者調整(27) 担当者調整(27) 担当科目追加(25) 担当科目追加(26)
					専任	教授	時任 英人 (64)	平成26年4月	キャリア・ラーニング	担当者変更(26)
					専任	教授	渡谷 真吾 (51)	平成26年4月	ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論	担当者調整(26)
専任	教授	Pradhan Sujeet (46)	平成23年4月	情報システム基礎 アルゴリズム 経営情報学実験Ⅱ データベース ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	Pradhan Sujeet (50)	平成23年4月	情報システム基礎 アルゴリズム 経営情報学実験Ⅱ 情報システム実験 データベース データ管理と情報検索 ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	科目名称変更(26) 科目名称変更(26) 担当者調整(27)
					専任	教授	渡谷 真吾 (51)	平成26年4月	ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論	担当者調整(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	小林 和真 (45)	平成23年4月	情報ネットワーク概論 情報と職業 経営情報学実験Ⅲ 情報セキュリティ プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	小林 和真 (49)	平成23年4月	情報ネットワーク概論 情報と職業 経営情報学実験Ⅲ 情報ネットワーク実験 情報セキュリティ プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	科目名称変更(26) 担当者調整(27)
					専任	教授	渡谷 真吾 (51)	平成26年4月	プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論	担当者調整(26)
専任	教授	村山 公保 (43)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論 コンピュータ基礎 プログラミング基礎 情報ネットワーク プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	村山 公保 (47)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論 コンピュータ基礎 プログラミング基礎 情報ネットワーク プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究 インターネット情報概論	担当者調整(27) 担当科目追加(27)
					専任	教授	渡谷 真吾 (51)	平成26年4月	プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論	担当者調整(26)
専任	教授	足立 邦夫 (69)	平成23年4月	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ	専任	教授	足立 邦夫 (70)	平成23年4月	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ	足立教授退職 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(25)
専任	教授	植木 利彦 (68)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	専任	教授	植木 利彦 (70)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	植木教授退職 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(26)
					兼任	講師	長井 龍月 (61)	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ	植木教授退職のため担当者変更(26) 担当者調整(27)
					兼任	講師	Glenn Sumner (40)	平成26年4月	英会話Ⅱ	植木教授退職のため担当者変更(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	塩飽 直紀 (67)	平成23年4月	環境と社会 経済学原論Ⅰ(マクロ) 経済学原論Ⅱ(ミクロ) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	専任 兼任	教授	塩飽 直紀 (71)	平成23年4月 平成26年4月	環境と社会 経済学原論Ⅰ(マクロ) 経済学原論Ⅱ(ミクロ) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 岡山ビジネス研究 倉敷産業研究 経済学	担当者転属 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(26) 担当科目追加(24) 科目名称変更(26) 担当科目追加(26)
専任	教授	渡辺 肇 (67)	平成23年4月	経済学 金融論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	専任	教授	渡辺一肇 (69)	平成23年4月	経済学 金融論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 国際地域論Ⅲ (ヨーロッパ) 経営資金調達論	科目廃止(26) 渡辺教授退職 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(26) 担当科目追加(24) 科目廃止(26) 後藤教授退職のため平成24年度より担当科目追加(24) 科目廃止(26)
					兼任	教授	塩飽 直紀 (71)	平成26年4月	経済学	渡辺教授退職のため平成26年度より担当者変更(26)
専任	教授	後藤 裕 (65)	平成23年4月	経営学概論 経営と倫理 経営資金調達論 投資銀行実務入門 金融実務論 金融実務特論 証券外務員論 MBAリーダーシップ入門 MBAマーケティング入門 MBA英語特論Ⅰ MBA英語特論Ⅱ インターンシップ インターンシップ概論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任 兼任	教授 講師	後藤 裕 (69)	平成23年4月 平成24年4月	経営学概論 経営と倫理 経営資金調達論 投資銀行実務入門 金融実務論 金融実務特論 証券外務員論 MBAリーダーシップ入門 リーダーシップ入門 MBAマーケティング入門 マーケティングリサーチ MBA英語特論Ⅰ MBA英語特論Ⅱ インターンシップ インターンシップ概論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	後藤教授退職 複数の学科専任教員が担当者であるため教育上影響はない(24) 担当者転属(24) 科目名称変更(26) 科目名称変更(26)
					兼任	講師	紀本 明宏 (71)	平成24年4月	経営学概論	後藤教授退職のため平成24年度より担当者変更(24)
					専任	教授	岡野一喜良 (67)	平成24年4月	経営と倫理	後藤教授退職のため平成24年度より担当者変更(24)
					兼任	講師	安東一宮 (62)	平成25年4月	経営と倫理	担当者変更(25)
					兼任	講師	黒江 正行 (59)	平成27年4月	経営と倫理	担当者変更(27)
					専任	教授	渡辺一肇 (69)	平成24年4月	経営資金調達論	後藤教授退職のため平成24年度より担当者変更(24) 科目廃止(26) 担当者退職(26)
					兼任	講師	裾分一守 (64)	平成24年4月	金融実務論 投資銀行実務入門 金融概論	後藤教授退職のため平成24年度より担当者変更(24) 科目廃止(26) 担当科目追加(26)
					兼任	講師	藤井 功 (50)	平成27年4月	金融実務論 金融概論	担当者変更(27)
					兼任	講師	二階堂一比古 (66)	平成24年4月	金融実務特論 金融概論	後藤教授退職のため平成24年度より担当者変更(24) 科目名称変更(26) 担当者調整(27)
							後任未定		証券外務員論	平成24年3月 後藤教授退職のため担当教員を選考中(24) 科目廃止(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					専任	教授	渡谷 真吾 (51)	平成24年4月	MBA英語特論Ⅰ MBA英語特論Ⅱ インターンシップ インターンシップ概論	後藤教授退職のため平成24年度より担当者変更(24) 科目廃止(26)
専任	教授	岡野 喜良 (63)	平成23年4月	岡山ビジネス研究 企業経営論 人事経営論 アジアビジネス経営論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	岡野 喜良 (67)	平成23年4月	岡山ビジネス研究 企業経営論 人事経営論 人事管理論 アジアビジネス経営論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究 キャリア・ラーニング 経営と倫理	科目名称変更(26) 科目廃止(26) 担当科目追加(23) 後藤教授退職のため平成24年度より担当科目追加(24)
					兼任	講師	安東一官 (62)	平成25年4月	経営と倫理	担当者変更(25)
					兼任	講師	黒江 正行 (59)	平成27年4月	経営と倫理	担当者変更(27)
専任	教授	河野 正英 (48)	平成23年4月	法学 民法総論 商法総論 会社法 ビジネス法Ⅰ ビジネス法Ⅱ(国際法を含む) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	河野 正英 (52)	平成23年4月	法学 民法総論 商法総論 会社法 ビジネス法Ⅰ ビジネス法Ⅱ(国際法を含む) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	
専任	教授	渡谷 真吾 (47)	平成23年4月	コンピュータリテラシ 入門統計学 統計解析の基礎 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	教授	渡谷 真吾 (51)	平成23年4月	コンピュータリテラシ 入門統計学 統計解析の基礎 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究 MBA英語特論Ⅰ MBA英語特論Ⅱ インターンシップ インターンシップ概論 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ プロジェクト実習Ⅰ プロジェクト実習Ⅱ プロジェクト実習Ⅲ ITパスポート特論 基本情報技術者特論 ITスペシャリスト特論 インターンシップ	後藤教授退職のため平成24年度より担当科目追加(24) 科目廃止(26) 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25) 担当科目追加(26) 担当科目追加(27)

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専任	准教授	八角 憲男 (59)	平成23年4月	簿記論 簿記論演習 MBAアカウン ティング入門 MBAファイナンス入門 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	専任	准教授	八角—憲男 (59)	平成23年4月	簿記論 簿記論演習 MBAアカウン ティング入門 MBAファイナンス入門 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ 卒業研究	八角准退職 複数の学科専任教員が担当者 であるため教育上影響はない (24)	
					兼任	講師	堤 一浩 (71)	平成24年4月	簿記論 簿記論演習 MBAアカウン ティング入門 会計学 MBAファイナ ンス入門		八角准教授退職のため平成24 年度より担当者変更(24) 科目名称変更(26)
					兼任	講師	安東 官 (62)	平成25年4月	MBAファイナ ンス入門		担当者変更(25) 科目廃止(26)
兼担	教授	森田 亜紀 (56)	平成23年4月	芸術文化論	兼担	教授	森田 亜紀 (60)	平成23年4月 平成27年4月	芸術文化論 演劇と芸術	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24) 担当者退職による転属(27)	
					兼任	講師	守田 均 (62)	平成27年4月	芸術文化論		担当者変更(27)
兼担	教授	平野 重光 (71)	平成23年4月	日本美術史	兼担	教授	平野—重光 (71)	平成20年4月	日本美術史	平野教授退職のため平成23年 度より担当者の変更(23)	
					兼担	教授	神原 正明 (63)	平成20年4月	日本美術史	科目廃止(26)	
兼担	教授	神原 正明 (59)	平成23年4月	西洋美術史Ⅰ	兼担	教授	神原 正明 (63)	平成23年4月	西洋美術史Ⅰ 日本美術史	科目廃止(26) 担当科目追加(23) 科目廃止(26)	
兼担	教授	松岡 智子 (51)	平成23年4月	西洋美術史Ⅱ 近代日本美術史	兼担	教授	松岡 智子 (55)	平成23年4月	西洋美術史Ⅱ 近代日本美術史	科目廃止(26)	
兼担	教授	山崎 宏暉 (66)	平成23年4月	文学 文章表現法	兼担	教授	山崎—宏暉 (66)	平成23年4月	文学 文章表現法	山崎教授退職 「後任未定」平成24年度は開 講せず(24) 担当者追加(25) 山崎教授退職 複数の教員が担当者であるた め教育上影響はない(24) 担当者追加(25)	
					兼担	准教授	江原 雅江 (45)	平成25年4月 平成26年4月	文学	担当科目追加(25) 担当者転属(26)	
					兼任	講師	加納—直子 (42)	平成25年4月	文章表現法	担当科目追加(25)	
					兼担	准教授	水田 直美 (49)	平成26年4月	文章表現法	担当者変更(26)	
兼担	教授	近藤 研二 (58)	平成23年4月	情報デザイン概論 デザイン史	兼担	教授	近藤 研二 (62)	平成23年4月	情報デザイン概論 デザイン史 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ 倉敷と仕事	科目廃止(26) 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25) 担当科目追加(27)	
					兼担	教授	神原 正明 (63)	平成26年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(26)	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	鈴木 まどか (65)	平成23年4月	歴史学 文化財学概論	兼任	教授	鈴木—まどか (69)	平成23年4月	歴史学 文化財学概論	担当者退職のため削除(27)
					兼任	講師	守田 均 (62)	平成27年4月	文化財学概論	担当者変更(27)
兼任	教授	濱坂 渉 (59)	平成23年4月	芸術と科学の協調	兼任	教授	濱坂 渉 (63)	平成23年4月	芸術と科学の協調 現代の美術	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24)
					兼任	講師	松村 麻太 (43)	平成25年4月	現代の美術	
兼任	教授	Caspar SCHWABE (57)	平成23年4月	倉敷まちづくり実践論	兼任	教授	Caspar—SCHWABE (60)	平成23年4月	倉敷まちづくり実践論	担当者退職のため削除(27)
兼任	教授	時任 英人 (60)	平成23年4月	歴史学 政治学 アジアの政治文化 政治学史 国際政治学	兼任	教授	時任 英人 (64)	平成23年4月 平成26年4月	歴史学 政治学 アジアの政治文化 政治学史 国際政治学 キャリア・ラーニング 国際地域論Ⅰ(日本) キャリア・ラーニング	担当科目追加(23) 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24) 科目廃止(26) 担当科目追加(26) 転属による変更(26)
					兼任	准教授	水田 直美 (49)	平成24年4月	キャリア・ラーニング	担当者変更(24)
兼任	教授	西川 高史 (59)	平成23年4月	哲学 宗教学 ビジネスと宗教 東洋思想概論	兼任	教授	西川 高史 (63)	平成23年4月 平成26年4月	哲学 宗教学 ビジネスと宗教 東洋思想概論	科目廃止(26) 担当者転属(26)
兼任	教授	中島 道夫 (60)	平成23年4月	芸術と科学の協調 認知科学概論	兼任	教授	中島—道夫 (62)	平成23年4月	芸術と科学の協調 認知科学概論 インターネット旅行 情報概論 インターネット情報 概論	科目廃止(26) 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24) 科目名称変更(26)
							担当者調整中		芸術と科学の協調 インターネット情報 概論	中島教授死去のため、担当者 調整中(26) 担当科目削除(27)
					専任	教授	村山 公保 (47)	平成27年4月	インターネット情報 概論	担当者調整(27)
兼任	教授	藤高 邦宏 (67)	平成23年4月	人生と仕事Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	教授	藤高—邦宏 (69)	平成23年4月	人生と仕事Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ	担当科目追加(23)
					兼任	准教授	森島—由紀子 (62)	平成26年4月	人生と仕事Ⅱ 人生と仕事	担当者退職による変更(26)
					専任	教授	赤木 恒雄 (62)	平成27年4月	人生と仕事	担当者・科目名称変更(27)
					兼任	講師	谷川 真利子 (63)	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	担当者退職による変更(26)
					兼任	講師	Glenn Sumner (40)	平成26年4月	英会話Ⅰ	担当者退職による変更(26)
兼任	教授	趙 慧欣 (52)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ビジネス日本語	兼任	教授	趙 慧欣 (56)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ビジネス日本語	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	赤木 恒雄 (58)	平成23年4月	人間の発達と形成	兼任 専任	教授	赤木 恒雄 (62)	平成23年4月 平成26年4月	人間の発達と形成 まちづくりと生涯学習 人生と仕事 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(26) 担当者転属(26) 担当科目追加(27)
兼任	教授	佐藤 恒夫 (58)	平成23年4月	芸術と科学の協調	兼任	教授	佐藤 恒夫 (58)	平成23年4月	芸術と科学の協調	
					兼任	准教授	加藤 敬史 (47)	平成23年4月	芸術と科学の協調	担当教員追加(23) 担当科目削除(27)
兼任	教授	妹尾 護 (58)	平成23年4月	地球科学	兼任	教授	妹尾 護 (62)	平成23年4月	地球科学	
兼任	教授	内藤 整 (45)	平成23年4月	人間と環境	兼任	教授	内藤 整 (49)	平成23年4月	人間と環境 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25)
兼任	教授	唐川 千秋 (50)	平成23年4月	心理学	兼任	教授	唐川 千秋 (54)	平成23年4月	心理学	
兼任	教授	河邊 誠一郎 (64)	平成23年4月	化学	兼任	教授	河邊 誠一郎 (64)	平成23年4月	化学	
					兼任	講師	杉山 宣彦 (63)	平成24年4月	化学	担当者変更(24)
兼任	教授	山本 健治 (62)	平成23年4月	物理学	兼任	教授	山本 健治 (66)	平成23年4月	物理学	
兼任	教授	猪木原 孝二 (52)	平成23年4月	保健体育概論	兼任	教授	猪木原 孝二 (56)	平成23年4月	保健体育概論	
兼任	准教授	五十嵐 英之 (47)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論	兼任	准教授	五十嵐 英之 (47)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論	
					兼任	教授	児島 塊太郎 (66)	平成24年4月	倉敷まちづくり基礎論	担当者変更(24) 担当科目削除(27)
兼任	准教授	水田 直美 (45)	平成23年4月	日本語表現 社会と言語	兼任	准教授	水田 直美 (49)	平成23年4月	日本語表現 社会と言語 キャリア・ラーニング 文章表現法	担当科目追加(24) 担当科目追加(26)
兼任	教授	柳田 宏治 (51)	平成23年4月	ユニバーサルデザイン論	兼任	教授	柳田 宏治 (55)	平成23年4月	ユニバーサルデザイン論 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当科目追加(26)
兼任	准教授	江原 雅江 (41)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅱ	兼任 専任	准教授	江原 雅江 (45)	平成23年4月 平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅱ 文学 基本英語 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ	担当科目追加(25) 担当科目追加(26) 担当者転属(26) 担当科目追加(27) 担当科目削除(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	大野 英志 (41)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ ビジネス英語	兼任	准教授	大野 英志 (45)	平成23年4月 平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ ビジネス英語 キャリア・ラーニング 英会話Ⅱ ゼミナールⅠ	担当者調整のため(23) 担当科目追加(23) 担当科目追加(26) 担当者転属(26) 担当科目追加(27)
					兼任	講師	紀本 明宏 (71)	平成24年4月	ビジネス英語	担当者変更(24) 科目廃止(26)
					専任	教授	中川 重和 (51)	平成25年4月	キャリア・ラーニング	担当者変更(25) 担当科目削除(26)
兼任	准教授	加藤 敬史 (43)	平成23年4月	地球科学	兼任	准教授	加藤 敬史 (47)	平成23年4月	地球科学 芸術と科学の協調	担当科目追加(23) 担当科目削除(27)
兼任	准教授	荒木 直彦 (43)	平成23年4月	保健体育概論	兼任	准教授	荒木 直彦 (47)	平成23年4月	保健体育概論	
					兼任	講師	飯田 智行 (34)	平成24年4月	保健体育概論	担当者変更(24) 担当者退職(26)
兼任	講師	経遠 雄三 (62)	平成23年4月	保健体育概論 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	兼任	講師	経遠 雄三 (66)	平成23年4月	保健体育概論 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	体調不良のため(23) 担当者変更(24) 担当者退職(27)
					兼任	講師	高原 皓全 (28)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ	担当科目調整のため(23)
兼任	講師	芦田 雅子 (51)	平成23年4月	海外事情Ⅰ 海外事情Ⅱ 海外事情Ⅲ 海外事情Ⅳ	兼任	講師	芦田 雅子 (55)	平成23年4月 平成26年4月	海外事情Ⅰ 海外事情Ⅱ 国際地域論Ⅱ(アジア) 海外事情Ⅲ 国際地域論Ⅲ(ヨーロッパ) 海外事情Ⅳ 国際地域論Ⅳ(アメリカ) 旅行危機管理概論 観光概論 地域体験演習 国内旅行業務論Ⅰ 国内旅行業務論Ⅱ ゼミナールⅠ	国際地域論Ⅱ(アジア)と授業内容を統合したため廃止(24) 科目名称変更(24) 科目廃止(26) 科目名称を国際地域論Ⅲ(ヨーロッパ)へ変更(24) 科目廃止(26) 科目名称を国際地域論Ⅳ(アメリカ)へ変更(24) 科目廃止(26) 教育課程の充実を図るため、科目を追加(24) 教育課程の充実を図るため、科目を追加(26) 担当科目追加(26) 担当者転属(26)
					専任	教授	渡辺 肇 (69)	平成24年4月	国際地域論Ⅲ(ヨーロッパ)	担当者変更(24) 科目廃止(26) 担当者退職(26)
					兼任	講師	枝松 千尋 (41)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	昇格のため(24)
兼任	助教	大杉 忠則 (34)	平成23年4月	人生と仕事Ⅰ	兼任	助教	大杉 忠則 (35)	平成23年4月	人生と仕事Ⅰ	
					兼任	講師	黒田 明雄 (59)	平成25年4月 平成26年4月	人生と仕事Ⅰ 倉敷と仕事	担当者変更(25) 担当者転属(26) 科目名称変更(27)
兼任	助教	藤塚 千秋 (32)	平成23年4月	保健体育概論	兼任	助教	藤塚 千秋 (32)	平成23年4月	保健体育概論	退職のため(23) 担当者複数のため支障なし

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	津野熊 総一郎 (62)	平成23年4月	基本英語 英語 I 英語 II	兼任	講師	津野熊 総一郎 (66)	平成23年4月	基本英語 英語 I 英語 II キャリア・ラーニング	担当科目追加(23) 担当科目調整のため(24)
兼任	講師	杉山 宣彦 (59)	平成23年4月	基本化学	兼任	講師	杉山 宣彦 (63)	平成23年4月	基本化学 化学	担当科目追加(24)
兼任	講師	岡本 宏 (59)	平成23年4月	基本数学	兼任	講師	岡本 宏 (63)	平成23年4月	基本数学 数学	担当科目追加(24)
兼任	講師	足守 浩 (59)	平成23年4月	日本国憲法	兼任	講師	足守 浩 (63)	平成23年4月	日本国憲法	
兼任	講師	岩崎 英人 (61)	平成23年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II	兼任	講師	岩崎 英人 (61)	平成23年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II	
					兼任	講師	久米 大祐 (27)	平成24年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II	担当者変更(24)
					兼任	講師	石田 博也 (36)	平成25年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II	担当者変更(25)
兼任	講師	犬飼 義秀 (58)	平成23年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II	兼任	講師	犬飼 義秀 (61)	平成23年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II	担当者退職(26)
兼任	講師	小西 通雄 (81)	平成23年4月	マスコミ論	兼任	講師	小西 通雄 (84)	平成23年4月	マスコミ論	
					専任	教授	濱家 輝雄 (67)	平成27年4月	マスコミ論	担当者変更(27)
兼任	講師	角 光義 (58)	平成23年4月	物理学 基本物理	兼任	講師	角 光義 (62)	平成23年4月	物理学 基本物理	
兼任	講師	中原 靖之 (64)	平成23年4月	世界と日本	兼任	講師	中原 靖之 (68)	平成23年4月	世界と日本 旅行者心理学 観光社会学	担当科目追加(26) 担当科目追加(27)
兼任	講師	中村 道一 (41)	平成23年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II	兼任	講師	中村 道一 (45)	平成23年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II	
兼任	講師	藤間 友 (70)	平成23年4月	日本の伝統芸能	兼任	講師	藤間 友 (71)	平成23年4月	日本の伝統芸能	
					兼任	講師	吾妻 寛穂 (67)	平成25年4月	日本の伝統芸能	担当者変更(25)
兼任	講師	加納 直子 (38)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II	兼任	講師	加納 直子 (40)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II 文章表現法	担当科目追加(25)
					兼任	講師	桑原 直子 (41)	平成25年4月	日本語会話 I 日本語会話 II	担当者変更(25)
					兼任	講師	西川 一格 (61)	平成26年4月	日本語 I 日本語 II	担当者変更(26) 担当科目削除(27)
					兼任	講師	小西 裕美 (43)	平成26年4月	日本語理解 I 日本語理解 II 日本語会話 I 日本語会話 II	担当者変更(26) 担当科目追加(27)
					専任	講師	黒田 明雄 (59)	平成27年4月	日本語理解 I 日本語理解 II	担当者変更(27)
					兼任	准教授	水田 直美 (49)	平成26年4月	文章表現法	担当者変更(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	児玉 正子 (60)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II	兼任	講師	児玉 正子 (64)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II 実践日本語 日本語理解 I 日本語理解 II	担当科目追加 (23) 担当科目追加 (27)
					兼任	講師	桑原一直子 (41)	平成25年4月	日本語理解 I 日本語理解 II	担当者変更 (25)
					兼任	講師	児玉 正子 (64)	平成27年4月	日本語理解 I 日本語理解 II	担当者変更 (27)
兼任	講師	禹 暎瑩 (37)	平成23年4月	日本語演習 I 日本語演習 II	兼任	講師	禹 暎瑩 (41)	平成23年4月	日本語演習 I 日本語演習 II	
兼任	講師	甲元 孝朋 (70)	平成23年4月	地域金融産業論	兼任	講師	甲元 孝朋 (74)	平成23年4月	地域金融産業論	科目廃止 (26)
兼任	講師	田路 慧 (73)	平成23年4月	西洋思想概論	兼任	講師	田路 慧 (75)	平成23年4月	西洋思想概論	
					兼任	講師	野村 卓史 (35)	平成26年4月	西洋思想概論	担当者変更 (26)
兼任	講師	平野 聖 (57)	平成23年4月	知的財産権	兼任	講師	平野 聖 (60)	平成23年4月	知的財産権	
					兼任	講師	下尾 邦之 (57)	平成26年4月	知的財産権	担当者変更 (26)
兼任	講師	支 洪涛 (45)	平成23年4月	実践日本語	兼任	講師	支 洪涛 (45)	平成23年4月	実践日本語	
					兼任	講師	児玉 正子 (64)	平成23年4月	実践日本語	担当者変更 (23)
兼任	講師	片山 善行 (73)	平成23年4月	経営戦略論	兼任	講師	片山 善行 (73)	平成23年4月	経営戦略論	
					兼任	講師	紀本 明宏 (71)	平成24年4月	経営戦略論	担当者変更 (24)
兼任	講師	森 喬 (71)	平成23年4月	観光社会学	兼任	講師	森 喬 (74)	平成23年4月	観光社会学	
					兼任	講師	中原 靖之 (68)	平成27年4月	観光社会学	担当者変更 (27)
					兼任	教授	古川 敏紀 (65)	平成23年4月	動物入門(生き物を科学する) 教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	担当科目追加 (23) 教育課程の充実を図るため、 科目を追加 (25) 担当者退職 (27)
					兼任	教授	田村 勝利 (51)	平成27年4月	動物入門(生き物を科学する)	担当者退職のため、 担当者変更 (27)
					兼任	教授	梶浦 文夫 (62)	平成27年4月	教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	担当者退職のため、 担当者変更 (27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任 専任	教授	濱家 輝雄 (67)	平成24年4月 平成26年4月	放送概論 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ プレゼンテーション論 瀬戸内の文化と観光 観光ガイド演習 倉敷と仕事	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24) 科目廃止(26) 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25) 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(26) 担当者転属(26) 担当科目追加(27)
					専任	教授	赤木 恒雄 (62)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(27)
					兼任	教授	大野 英治 (65)	平成24年4月	医療入門(生き物を科学する) 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24) 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25)
					兼任	講師	宮本 朋幸 (35)	平成26年4月	医療入門(生き物を科学する)	担当者変更(26) 担当者退職(27)
					兼任	教授	坂口 卓也 (61)	平成26年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ 医療入門(生き物を科学する)	担当者変更(26) 担当科目追加(27)
					兼任	准教授	馬場 始三 (49)	平成24年4月	情報ネットワーク概論	科目担当者追加(24)
					兼任	講師	飯田 智行 (34)	平成24年4月	保健体育概論	担当者追加(24) 担当者退職(26)
					兼任	講師	河 智弘 (44)	平成24年4月	ハングルⅠ ハングルⅡ	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24)
					兼任	講師	太田 陽子 (46)	平成24年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24)
					兼任	講師	岡本 直樹 (69)	平成24年4月	サービス産業論 消費者行動論	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24)
					兼任	講師	松村 麻太 (43)	平成25年4月	現代の美術	担当者追加(25) 担当者退職(26)
					兼任	教授	家住 利男 (61)	平成25年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25)
					兼任	教授	井手 康人 (52)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(27)
					兼任	教授	大林 誠 (62)	平成25年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25)
					兼任	教授	柳田 宏治 (55)	平成26年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	教授	奥本一寛 (60)	平成25年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
					兼任	教授	佐藤 恒夫 (62)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(27)
					兼任	教授	浅川一富美雪 (68)	平成25年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
					兼任	教授	妹尾 護 (62)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(27)
					兼任	教授	神原 正明 (63)	平成26年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者追加(26)
					兼任	講師	筒井 徹也 (50)	平成26年4月	地域づくり概論 事業企画論 地域活性論(地域経済)	教育課程の充実を図るため、科目を追加(26) 担当者追加(26)
					兼任	講師	永井 圭子 (49)	平成26年4月	ホスピタリティ論	教育課程の充実を図るため、科目を追加(26) 担当者追加(26)
					兼任	講師	岡 荘一郎 (74)	平成26年4月	ホスピタリティ論	教育課程の充実を図るため、科目を追加(26) 担当者追加(26)
							担当者調整中		地域政策論 ホテルマネジメント論 ホテルマネジメント演習 インターンシップ	教育課程の充実を図るため、科目を追加(26)
					兼任	講師	畠平 泰彦 (57)	平成27年4月	地域政策論	担当者調整(27)
					兼任	講師	安達 精治 (61)	平成27年4月	ホテルマネジメント論	担当者調整(27)
					専任	教授	渡谷 真吾 (51)	平成27年4月	インターンシップ	担当者調整(27)
					兼任	講師	石原一達也 (37)	平成26年4月	ボランティアとNPO	教育課程の充実を図るため、科目を追加(26) 担当者追加(26) 担当者削除(27)
					兼任	講師	加藤 せい子 (54)	平成26年4月	ボランティアとNPO	教育課程の充実を図るため、科目を追加(26) 担当者追加(26)
					兼任	講師	山下 眞盛 (70)	平成26年4月	総合旅行業務論Ⅰ 総合旅行業務論Ⅱ	教育課程の充実を図るため、科目を追加(26) 担当者追加(26)
					兼任	講師	長井 龍月 (61)	平成26年4月	基本英語 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ	担当者追加(26) 担当科目削除(27)
					兼任	講師	谷川 真利子 (62)	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ まちづくりインターンシップ	担当者追加(26) 担当科目追加(27)
					兼任	講師	Glenn Sumner (40)	平成26年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	担当者追加(26)
					兼任	准教授	森島一由紀子 (62)	平成26年4月	人生と仕事Ⅱ 人生と仕事	担当者追加(26)
					専任	教授	赤木 恒雄 (62)	平成27年4月	人生と仕事	担当者・科目名称変更(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	野村 卓史 (35)	平成26年4月	西洋思想概論	担当者追加(26)
					兼任	講師	下尾 邦之 (57)	平成26年4月	知的財産権	担当者追加(26)
					兼任	講師	藤井 功 (50)	平成27年4月	金融実務論 金融概論	担当者追加(27)
					兼任	講師	守田 均 (62)	平成27年4月	芸術文化論 文化財学概論	担当者追加(27)
					兼任	講師	畠平 泰彦 (57)	平成27年4月	地域政策論	担当者追加(27)
					兼任	講師	安達 精治 (61)	平成27年4月	ホテルマネジメント論	担当者追加(27)
					兼任	講師	中原 靖之 (68)	平成27年4月	観光社会学 旅行者心理学	担当者追加(27)
					兼任	教授	田村 勝利 (51)	平成27年4月	動物入門(生き物を科学する)	担当者追加(27)
					兼任	教授	梶浦 文夫 (62)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者追加(27)
					兼任	教授	井手 康人 (52)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者追加(27)
					兼任	教授	佐藤 恒夫 (62)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者追加(27)
					兼任	教授	妹尾 護 (62)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者追加(27)
					兼任	教授	後藤 秀典 (56)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者追加(27)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
12	1	0	0	13	13	2	2	0	17	65	2	65	2
(18)	(1)	()	()	(19)	[+1]	[+1]	[+2]	[]	[+4]	歳	名	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- ・「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	足立 邦夫	定年による退職
2	教授	尾高 好政	定年による退職(26)
3	教授	植木 利彦	定年による退職(26)
4	教授	渡辺 肇	定年による退職(26)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の退職により、学生への教育に支障がないように、同一分野の他の教員又は、非常勤講師を採用し、教育を行う。後任者の担当科目については、シラバス、時間割等に記載し、さらに、オリエンテーションを行うことにより、周知徹底を図る。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (23年5月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (24年5月)	生命科学部健康医療学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項 定員充足に向け来年度以降、入学定員の確保が行えるよう、説明会・高校訪問・出張講義・オープンキャンパス等、学科の周知に努め、入学定員確保が行えるよう努めてまいります。	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (25年5月)	生命科学部健康医療学科, 千葉科学大学薬学部生命薬科学科, 危機管理学部航空・輸送安全学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項 健康医療学科は、入学定員確保に向けて次のような対策をとった。 オープンキャンパス・高校訪問・説明会等で、学科を分かりやすく紹介する工夫を行い、その結果、オープンキャンパス参加者では、平成23年度に31名だったのが、平成24年度では36名に増加し、資料請求では、平成23年度507件だったのが、平成24年度では672件と増加した。	・学生に対する就職支援に力をいれ、安心して入学出来る体制を確立し、入学生確保に努める。 ・今後、健康医療学科を含む大学全体の学部組織を、より魅力のある学部学科に改編するよう検討している。 対応完了予定時期 平成26年度内
		留意事項 千葉科学大学薬学部生命薬科学科は、平成24年度より、定員の見直しを行い、入学定員を50名から40名に変更した。また、平成24年度より、危機管理学部の学科改組により、3名の教員が所属変更した。このため教育課程の見直しを行い、専任教員1名を採用、1名の専任教員の所属変更と助手から助教への1名昇格により、教育内容の充実に努めてきた。その結果、志願者数は毎年減少していたが、今年度は増加の予定である。	引き続き教育内容を充実するとともに、受験生に理解が得られるよう広報活動を行い学生確保に努める。
		留意事項 千葉科学大学危機管理学部航空・輸送安全学科は、受験生に与える印象と教育内容の不一致が定員未充足の原因ではないかと思われることから、工学に興味を持ち、災害や事故に対処できる若者の興味をひくとともに、従来からのパイロット希望者の関心も維持し志願者の増加を図ることが可能と考え、教育課程の見直しを行い、平成25年度より学科名称を工学技術危機管理学科に変更する手続きを行った。	

<p>設置計画履行状況 調査時 (26年5月)</p>	<p>生命科学部健康医療学科、芸術学部美術工芸学科、産業科学技術学部観光学科、千葉科学大学薬学部生命薬科学科、危機管理学部工学技術危機管理学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>生命科学部健康医療学科、芸術学部美術工芸学科、産業科学技術学部観光学科の学生募集を平成26年4月より停止します。 (平成25年4月25日付で報告書提出済)</p>	<p>該当無し</p>
			<p>千葉科学大学薬学部生命薬科学科の志願者数(入学者数)は2012年度は52名(18名)、2013年度は50名(23名)だった。2014年度入試はまだ進行中であるが、これまでで志願者数は59名となっていて、志願者増加が見られている。最終的な入学者数の増加を期待している。</p>	<p>6年制薬学科に比べて生命薬科学科では資格が取れない、という受験生、父兄の判断で受験者数が低迷していた傾向があるので、本学科では生命科学に関わる多様なキャリアパスが得られることをアピールしている。また、優秀な学生に対する特待生制度によって質の向上を図っている。ここ何年か、薬学部全体に対する受験生の志向が下降していたが、やや回復の兆しがあるので、本学科の施策ともども入試状況の改善につながることを期待される。2014年度の入学者数が確定した時点で、入学定員見直しを含めて計画を再検討する。</p>
			<p>千葉科学大学危機管理学部工学技術危機管理学科は、2013年度の入学者数は7名であったが、2014年度の入学予定者数は11名と回復の兆しが見えてきた。</p>	<p>工学的技術を用い危機管理にあたる人材を育成するという学科の教育理念のもと、「防災技術コース」及び「パイロット・整備コース」を設置している。 「防災技術コース」においては、火災、水害、地震などの実験装置を用い、体験的に防災技術に関する専門知識を学ぶことにより、様々な危機を想定し、予防や的確な対処ができる能力を培うことを目標にしている。先の東日本大震災を経験し、改めて「防災」に対する重要性が問われている中、工学的見地からの防災技術を社会に紹介するなど、本コースで行っている教育研究活動を積極的に情報発信し認知度の向上を図っていく。 また、「パイロット・整備コース」においては、次年度からは被災地と都市との間の人員や物資の移送に威力を発揮する航空機や車両の運航、整備に携わるとともに航空機や車両の利用に貢献できる人材の養成に関し、従前の自家用操縦資格取得から事業用操縦資格を取得できるよう教育内容を充実させる予定である。 本学科は工学系の学科で有ることから機械系、電気系の学科を設置している工業系高校を中心に高校訪問活動を強化するとともに、工学系志望、航空機の利用に興味のある生徒にDM等を発送し、学部、学科の教育理念、目指す人材養成像の浸透を図り、入学定員確保を目指す方針である。</p>

	芸術学部メディア映像学科の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	定員超過率が1.00になるように入学定員を見直し、平成26年4月より入学定員を35名→50名に変更します。 (平成25年4月25日付で届出書提出済)	該当無し
設置計画履行状況調査時 (27年5月)	産業科学技術学部経営情報学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	産業科学技術学部経営情報学科の認知度を向上させるため、大学全体のオープンキャンパスとは別に学科独自のオープンキャンパスを開催。また、スマートフォンに対応した学科オリジナルのホームページを立ち上げ、学科の特色のある活動の情報発信を行っている。その結果、2014年度の志願者48名・入学者31名に対し、2015年度は志願者65名・入学予定者39名と改善してきている。	受験生等に学部学科の教育理念や目指す人材養成像などを分かりやすく伝えるため、学科オリジナルホームページやリーフレットを通じて積極的な情報発信を行っている。また、本学のある倉敷地域の観光資源を利用したフィールドワーク教育を充実させ、学生が地元の生きた教材を利用しながら課題を解決し、その成果を地元還元することにより、学生の活動が評価され、さらに学科の認知度向上につながることで、志願者の増加、入学定員確保を目指す方針である。
	生命科学部健康医療学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	生命科学部健康医療学科の学生募集を平成26年4月より停止し、生命科学部健康科学科に統合し、鍼灸専攻とした。その結果、学生募集が効率的に行えるようになったため、2014年度の志願者15名・入学者8名に対し、2015年度は志願者33名・入学予定者17名と改善してきている。	該当無し
	生命科学部健康医療学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	生命科学部健康医療学科を、生命科学部健康科学科に鍼灸専攻として統合する際に、現状の教員をそのまま異動させている。また、健康医療学科の完成年次に伴い、年齢の高い教員が退職となるため、順次、教員の補充を実施する計画としている。	専任教員の年齢構成のバランスを考え、退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高い状況にならないよう、適正な教員の年齢構成になるよう計画的に検討していく。また、教育内容および教員組織を継続的に維持していくことで、学生への教育の質を保っていく。
	既設学部等（千葉科学大学薬学部生命薬科学科、危機管理学部工学技術危機管理学科）の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	千葉科学大学薬学部生命薬科学科においては、全国的に4年制薬科学科の定員充足状況が厳しいなか、定員充足の対策として、学修内容や就職先、教育内容を周知するために広報活動に積極的に取り組んでいるが、本年度入試においても予想定員充足率が0.50を切る厳しい状況が続いている。また、危機管理学部工学技術危機管理学科では平成25年度より学科名称を本名称に変更し、工学系学科であることを明示し、積極的に広報活動に取り組んできており、本年度入試においては、微増ではあるが、志願者、入学者ともに増加している。	千葉科学大学薬学部生命薬科学科においては、引き続き、学修内容や就職先、教育内容の周知を踏ると共に、今後、受験生、保護者への情報提供の方法・内容、教育研究内容の充実等について当該学科のみならず、全学的な入試広報委員会において積極的に検討し、更なる改善を行い、入学定員確保を目指す。また、危機管理学部工学技術危機管理学科においては、平成25年度より「工学技術危機管理学科（旧 航空・輸送安全学科）」に名称変更し、工学系であることを明示したことにより、微増ではあるが、志願者、入学者共に増加している。引き続き工学系の学生受け入れを目指し広報活動も積極的に行う。また、当該学科及び全学的な入試広報委員会等で受験生、保護者への情報提供の方法・内容、教育研究内容の充実等について更なる検討を行い、入学定員確保を目指す。

<p>既設学部等（岡山理科大学理学部化学科）の入学定員超過の改善に努めること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>平成23年度は1.28倍、平成24年度は1.30倍、平成25年度は1.28倍、平成26年度は1.37倍であり、平成26年度の4年間の平均入学定員超過率は1.30倍であった。この主な原因は、平成26年度入試において想定以上に入学者があり、単年度の超過率が1.37倍となったためである。平成27年度入試では、定員超過の改善に努め、3月時点での入学予想数は1.00倍であり、4年間の平均入学定員超過率は1.23倍に改善できる見込みである。</p>	<p>次年度以降も引き続き、入学定員超過の改善に努める予定である。</p>
---	-------------	---	---------------------------------------

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<産業科学技術学部 経営情報学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 倉敷芸術科学大学教育研究推進委員会規程 (添付)</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 平成26年度</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回教育研究推進委員会</td> <td>平成26年</td> <td>5月21日 (水)</td> <td>参加13名</td> </tr> <tr> <td>第2回教育研究推進委員会</td> <td>平成26年</td> <td>7月23日 (水)</td> <td>参加18名</td> </tr> <tr> <td>第3回教育研究推進委員会</td> <td>平成26年</td> <td>9月3日 (水)</td> <td>参加17名</td> </tr> <tr> <td>第4回教育研究推進委員会</td> <td>平成26年</td> <td>10月29日 (水)</td> <td>参加15名</td> </tr> <tr> <td>第5回教育研究推進委員会</td> <td>平成27年</td> <td>1月21日 (水)</td> <td>参加18名</td> </tr> </table> <p>c 委員会の審議事項等 主な議題: 委員長・副委員長選出について 到達目標について 授業アンケートについて 学生満足度アンケートについて 授業公開について FD報告書等作成について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケート ・ 授業公開 ・ FD講演会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業アンケート・・・前期後期定期試験前原則として全授業科目を対象として実施 ・ 授業公開・・・授業アンケートにおいて、高評価の教員を公開授業の対象とし、後期に1週間実施 ・ FD講演会・・・年間3回程度、外部講師や学内の教員による講演会を実施 	第1回教育研究推進委員会	平成26年	5月21日 (水)	参加13名	第2回教育研究推進委員会	平成26年	7月23日 (水)	参加18名	第3回教育研究推進委員会	平成26年	9月3日 (水)	参加17名	第4回教育研究推進委員会	平成26年	10月29日 (水)	参加15名	第5回教育研究推進委員会	平成27年	1月21日 (水)	参加18名
第1回教育研究推進委員会	平成26年	5月21日 (水)	参加13名																	
第2回教育研究推進委員会	平成26年	7月23日 (水)	参加18名																	
第3回教育研究推進委員会	平成26年	9月3日 (水)	参加17名																	
第4回教育研究推進委員会	平成26年	10月29日 (水)	参加15名																	
第5回教育研究推進委員会	平成27年	1月21日 (水)	参加18名																	

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業アンケート・・・全教員を対象に前期、後期各1回実施
- ・ 授業公開・・・・・・前期、後期に約2週間各学科の教員を対象に実施
- ・ FD講演会・・・・・・年間で3回実施。各回に約50名の教職員が参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）について、全学的に行っている活動における授業改善への方法は、次のように行われている。まず授業アンケートでは、各項目の各人の評価点数（5段階評価）と学部全体の評価点を比較できるようフィードバックし、全体における評価に対し、各人が担当する科目の評価点数を比較することで、改善の余地がある項目について確認できる仕組みとなっている。これにより、この担当教員が改善を行うこととしている。また、アンケートには自由記述欄を設けており、学生からの具体的な指摘を受けた内容について、必要に応じて改善を加えている。また、問題点が大きい場合は、当該学部長を交え改善について注意を促すこととしている。

アンケート内容や実施方法については、教育研究推進委員会にて現状確認を行い、改善の必要があれば議論し改善を行っている。

授業公開、FD講演会では、参加した教員がそれぞれの着眼点で授業改善に有効となる発想を見つけ改善に取り組んでいる。

また、学科においても体系的なカリキュラムを構築し、学科で必須の分野に関する科目のリメディアル教育を充実させ、ITやメディア教材を活用し学生の理解度を上げる工夫を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施の有無・・・有

実施時期・・・前期授業（平成26年7月16日（水）～平成26年7月31日（木））

後期授業（平成27年1月13日（火）～平成27年2月2日（月））

b 教員や学生への公開状況、方法等

学内において授業評価アンケートを閲覧出来る場所を設置し、各授業評価アンケート結果データを紙ファイルにて公開を行っている。また、大学ホームページ上においても学科毎の授業評価アンケート結果を電子データにて公開を行い授業の改善に役立てている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経営情報学科の趣旨・目的の達成状況については、趣旨・目的を達成させるために教育研究活動や管理運営組織等を点検評価する体制を整えている。具体的には、本学では当該年度の活動を点検評価した結果をまとめたFD活動年次報告書を刊行している。経営情報学科でも、各年度の活動を、公益財団法人大学基準協会の定めた大学基準（評価項目）に沿って、例えば「1. 理念・目的」では、PDCAサイクルに基づいて、「目標」、「現状」、「点検・評価」、「改善・改革方策」の順に確認して、その結果を上述の報告書に記載することとしている。

このような点検評価体制により、経営情報学科の趣旨・目的の達成に向けて、今後も引き続き設置計画を確実に履行するとともに、学士課程教育にふさわしい教育研究水準の維持・向上に努める所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成23年(2011年)4月 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上で公開(<http://www.kusa.ac.jp/about-university/outline/>)

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年(2017年)度に公益財団法人大学基準協会にて認証評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成27年度内公開予定)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 加計学園

(2) 大学名

倉敷芸術科学大学

(3) 大学の位置

〒712-8505

岡山県倉敷市連島町西之浦2640番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カケ コウタロウ) 加計 晃太郎 (H13年1月)		
学長	(ソエダ タカシ) 添田 喬 (H17年4月)	(カラキ ヒデアキ) 唐木 英明 (H23年10月) (ドイ アキラ) 土井 章 (H26年4月) (コウノ イイチロウ) 河野 伊一郎 (H27年4月)	体調不良により退職 (24) 退職による交代 (26) 任期満了による交代 (27)
生命科学部長	(ミヤノ ヨシモリ) 宮野 善盛 (H23年4月)		
健康医療学科主任	(ナイトウ ヒトシ) 内藤 整 (H23年4月)	健康医療学科長	職名変更 (25)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
生命科学部 健康医療学科 学士(健康科学)	4年	30人	0人	120人	平成26年4月学生募集停止(26) 入学定員 30→0名 収容定員 120→0名

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期
A 入学定員	30人 () []		30人 () []		30人 () []		0人 () []		0人 () []	
志願者数	30 () []		28 () []		22 () []		0 () []		0 () []	
受験者数	28 () []		28 () []		21 () []		0 () []		0 () []	
合格者数	28 () []		26 () []		21 () []		0 () []		0 () []	
B 入学者数	19 () []		14 () []		15 () []		0 () []		0 () []	
入学定員超過率 B/A	0.63		0.46		0.5		0		0	

区分	対象年度	平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
A 入学定員				平成26年4月学生募集停止(26)
志願者数				
受験者数		0.53倍	0.53倍	
合格者数				
B 入学者数				
入学定員超過率 B/A				

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 - ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
1年次	[-] (-) 14	[-] (-) -	[-] (-) 15	[-] (-) -	[-] (-) 0	[-] (-) -	[-] (-) 0	[-] (-) -	平成23年9月に生命科学部健康科学科より転学科により1名追加(24) 平成24年度1年次生2名生命科学部健康科学科へ転学科(25) 平成26年4月学生募集停止(26)		
2年次	/		[-] (-) 11	[-] (-) -	[-] (-) 14	[-] (-) -	[-] (-) 0	[-] (-) -			
3年次			/		/		[-] (1) 11	[-] (-) -		[-] (2) 15	[-] (-) -
4年次							/			/	
計			[-] (-) 14	[-] (-) 26	[-] (1) 25	[-] (-) 25					

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	14 人	2 人	平成24年度	1 人	人	就職(1名)	0.1428571 %
			平成25年度	1 人	人	就学意欲の低下(1名)	
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	15 人	2 人	平成25年度	1 人	人	経済的困難(1名)	0.1333333 %
			平成26年度	1 人	人	就学意欲の低下(1名)	
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	0 人	0 人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	0 人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	29 人	4 人					0.137931 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<生命科学部 健康医療学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	哲学	1・2・3・4		2							兼1	担当者退職のため今年度開講せず(24) 担当者追加(25) 担当 江原雅江(兼任) 担当者退職のため削除(27)
	文学	1・2・3・4		2						兼1 兼1		
	歴史学	1・2・3・4		2						兼2 兼1		
	日本語表現	1・2・3・4		2						兼1		
	宗教学	1・2・3・4		2						兼1		
	社会と言語	1・2・3・4		2						兼1		
	心理学	1・2・3・4		2						兼1		
	社会学	1・2・3・4		2						兼1		
	環境と社会	1・2・3・4		2						兼1		
	日本国憲法	1・2・3・4		2						兼1		
	法学	1・2・3・4		2						兼1		
	経済学	1・2・3・4		2						兼1		
	物理学	1・2・3・4		2							兼2	担当者変更(24) 担当 杉山宣彦(兼任) 担当者転属(27) 担当 妹尾護(教授) 担当者退職のため担当者変更及び役職変更(24) 担当 岡本宏(兼任) 渡辺守(兼任) 担当者調整(25) 担当者追加(26) 担当 中川重和(兼任)
	化学	1・2・3・4		2						兼1		
	人間と環境	1・2・3・4		2						兼1		
	地球科学	1・2・3・4		2		1				兼2 兼1		
	数学	1・2・3・4		2						兼2 兼1 兼2		
	世界と日本	1・2・3・4		2							兼1	担当者変更(27) 担当 濱家輝雄(兼任) 担当者退職のため今年度開講せず(24) 担当者追加(25) 担当者 加納直子(兼任) 担当者変更(26) 担当 水田直美(兼任) 担当者変更(25) 担当者 吾妻寛穂(兼任) 教育効果を考慮し配当年次を変更(23) 教育効果を考慮し配当年次を変更(24) 担当者変更(23) 担当 加藤敬史(兼任) 担当者削除(27)
	アジアの政治文化	1・2・3・4		2							兼1	
	マスコミ論	1・2・3・4		2							兼1	
文章表現法	1・2・3・4		2							兼1 兼1		
人間の発達と形成	1・2・3・4		2							兼1		
日本の伝統芸能	1・2・3・4		2							兼1		
芸術と科学の協調	1後 2後 1後		2							兼3 兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養総合科目	人生と仕事Ⅰ 倉敷と仕事	1	2	2							兼1 兼5	担当者変更(25) 担当者 黒田明雄(兼担) 教育課程の充実のため、 科目名称変更・科目区分変更 ・担当者追加(27) 担当者 小山悦司(兼担) 近藤研二(兼担) 濱家輝雄(兼担) 宮野善盛(兼担)
	人生と仕事Ⅱ 人生と仕事	2		2							兼1	教育課程の充実のため、 科目名称変更・担当者変更 (27) 担当者 赤木恒雄(教授) 担当者追加(23) 担当 岡野喜良(兼担) 時任英人(兼担) 大野英志(兼担) 津野熊総一郎(兼任)
	キャリア・ラーニング	3前		2							兼1 兼3 兼2 兼3	担当者変更(24) 担当 水田直美(兼担) 担当者変更(25) 担当 中川重和(兼担) 担当者追加(26) 担当 時任英人(兼担)
	キャリア・チャレンジⅠ	2前		1		1						科目廃止(27)
	キャリア・チャレンジⅡ	2後		1							兼1	科目廃止(27)
	基本数学	1		2							兼1	担当者追加(26)
	基本英語	1		2							兼1 兼3 兼2	担当 江原雅江(兼担) 長井龍月(兼担) 担当者削除(27)
	基本化学	1		2							兼1	
	基本物理	1		2							兼1	
	倉敷まちづくり基礎論	1後 1前		2							兼2 兼1	教育効果を考慮して開講期を 変更 担当者変更(24) 担当 児島塊太郎(兼担) 担当者削除(27)
	倉敷まちづくり実践論	1後		2							兼2 兼1	担当者退職のため削除(27)
	まちづくりインターンシップ	2前		2							兼3 兼1 兼2	担当者変更及び追加(23) 担当 小出肇(兼担) 神田鉄平(兼担) 担当者調整(26) 担当 小山悦司(兼担) 担当者追加(27) 担当 谷川真利子(兼任)
	地域貢献実践	3前		1								教育課程充実の理由により、 科目を追加(27) 担当者調整中
	若衆実践演習	3・4		1								教育課程充実の理由により、 科目を追加(27) 担当者調整中
	動物入門(生き物を科学する)	1後		2							兼1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(23) 担当 古川敏紀(兼担) 担当者退職のため変更(27) 担当 田村勝利(兼担)
医療入門(生き物を科学する)	1前		2							兼1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当 大野英治(兼担) 担当者退職による変更(26) 担当 宮本朋幸(兼担) 担当者退職のため変更(27) 担当 坂口卓也(兼担)	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 養 総 合 目	演劇と芸術	1・2・3・4		2								兼 1 教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当 森田亜紀(兼担) 担当者転属による変更(27) 担当 森田亜紀(兼任)
	現代の美術	1・2・3・4		2								兼 1 教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当 濱坂渉(兼担) 担当者追加(25) 担当 松村麻太(兼任) 担当者調整(26)
	教養概論 I	1・2・3・4		1		1						兼 9 兼 10 教育課程充実の理由により、 科目を追加(25) 担当 家住 利男(兼担) 大林 誠(兼担) 近藤 研二(兼担) 渡谷 真吾(兼担) 濱家 輝雄(兼担) 奥本 寛(兼担) 浅川 富美雪(兼担) 古川 敏紀(兼担) 大野 英治(兼担) 担当者変更(26) 担当 柳田宏治(兼担) 神原正明(兼担) 坂口卓也(兼担) 担当者変更(27) 担当 赤木恒雄(兼担) 井手康人(兼担) 梶浦文夫(兼担) 後藤秀典(兼担) 佐藤恒夫(兼担) 妹尾護(兼担)
	教養概論 II	1・2・3・4		1		1						兼 9 兼 10 教育課程充実の理由により、 科目を追加(25) 担当 家住 利男(兼担) 大林 誠(兼担) 近藤 研二(兼担) 渡谷 真吾(兼担) 濱家 輝雄(兼担) 奥本 寛(兼担) 浅川 富美雪(兼担) 古川 敏紀(兼担) 大野 英治(兼担) 担当者変更(26) 担当 柳田宏治(兼担) 神原正明(兼担) 坂口卓也(兼担) 担当者変更(27) 担当 赤木恒雄(兼担) 井手康人(兼担) 梶浦文夫(兼担) 後藤秀典(兼担) 佐藤恒夫(兼担) 妹尾護(兼担)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
総合	教養概論Ⅲ	1・2・3・4		2		1						兼-9 兼10	教育課程充実の理由により、 科目を追加(25) 担当 家住一利男(兼担) 大林一誠(兼担) 近藤一研二(兼担) 渡谷 真吾(兼担) 濱家一輝雄(兼担) 奥本一寛(兼担) 浅川一富美雪(兼担) 古川一敏紀(兼担) 大野一英治(兼担) 担当者変更(26) 担当 柳田宏治(兼担) 神原正明(兼担) 坂口卓也(兼担) 担当者変更(27) 担当 赤木恒雄(兼担) 井手康人(兼担) 梶浦文夫(兼担) 後藤秀典(兼担) 佐藤恒夫(兼担) 妹尾護(兼担)
	教養概論Ⅳ	1・2・3・4		2		1						兼-9 兼10	教育課程充実の理由により、 科目を追加(25) 担当 家住一利男(兼担) 大林一誠(兼担) 近藤一研二(兼担) 渡谷 真吾(兼担) 濱家一輝雄(兼担) 奥本一寛(兼担) 浅川一富美雪(兼担) 古川一敏紀(兼担) 大野一英治(兼担) 担当者変更(26) 担当 柳田宏治(兼担) 神原正明(兼担) 坂口卓也(兼担) 担当者変更(27) 担当 赤木恒雄(兼担) 井手康人(兼担) 梶浦文夫(兼担) 後藤秀典(兼担) 佐藤恒夫(兼担) 妹尾護(兼担)
外国 語	英語Ⅰ	1前		2								兼5	担当者退職による変更(26) 担当 谷川真利子(兼任) 長井龍月(兼任)
	英語Ⅱ	1後		2								兼5	担当者退職による変更(26) 担当 谷川真利子(兼任) 長井龍月(兼任)
	中国語Ⅰ	1前		2								兼1	
	中国語Ⅱ	1後		2								兼1	
	英会話Ⅰ	1前		2								兼-2 兼-3 兼2	担当者追加(23) 担当 藤高邦宏(兼担) 担当者退職による変更(26) 担当 長井龍月(兼任) Glenn Sumner(兼任) 担当者削除(27)
	英会話Ⅱ	1後		2								兼-3 兼-2 兼3	担当者調整(23) 担当者退職による変更(26) 担当 江原雅江(兼担) 大野英志(兼担) Glenn Sumner(兼任)
	ドイツ語Ⅰ	1前		2								兼1	
	ドイツ語Ⅱ	1後		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	ハンゲル I	1前		2							兼 1 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 担当 河智弘(兼任)
	ハンゲル II	1後		2						兼 1 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 担当 河智弘(兼任)	
	フランス語 I	1前		2						兼 1 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 担当 太田陽子(兼任)	
	フランス語 II	1後		2						兼 1 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 担当 太田陽子(兼任) 担当者変更(26)	
	日本語 I	1前	2							兼 2 担当—西川格(兼任) 兼 1 担当者削除(27) 担当者変更(26)	
	日本語 II	1後	2							兼 2 担当—西川格(兼任) 兼 1 担当者削除(27) 担当者変更(25)	
	日本語会話 I	1前	2							兼 2 担当—桑原直子(兼任) 担当者変更(27) 担当 小西裕美(兼任) 担当者変更(25)	
	日本語会話 II	1後	2							兼 2 担当—桑原直子(兼任) 担当者変更(27) 担当 小西裕美(兼任) 担当者変更(25) 担当—桑原直子(兼任) 担当者変更(26)	
	日本語理解 I	1前	2							兼 2 担当—小西裕美(兼任) 担当者変更(27) 担当 黒田明雄(兼任) 児玉正子(兼任) 担当者変更(25) 担当—桑原直子(兼任) 担当者変更(26)	
	日本語理解 II	1後	2							兼 2 担当—小西裕美(兼任) 担当者変更(27) 担当 黒田明雄(兼任) 児玉正子(兼任)	
	保体	保健体育概論	1		2			1	1		兼 4 担当者退職(23) 兼 3 担当者追加(24) 兼 2 担当—飯田智行(兼任) 担当者昇格(24) 担当者退職による削除(26) 担当者退職(27) 担当者体調不良により 担当者変更(23) 担当—高原皓全(兼任) 担当者変更(24)
		保健体育実技 I	1前		2			1	1		兼 4 担当 経遠雄三(兼任) 兼 3 久米夫祐(兼任) 兼 2 担当者変更(25) 担当 石田博也(兼任) 担当者退職(27) 担当者変更(24)
保健体育実技 II		1後		2			1	1		兼 4 担当—久米夫祐(兼任) 兼 3 担当者変更(25) 兼 2 担当 石田博也(兼任) 担当者退職(27)	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専 攻 科 目 共 通 専 門 科 目	生理学	1前 1後		2		1						教育効果を考慮し開講期を 変更(24) 昇格のため(23) 誤記載による専任から兼任 への訂正(23)	
	生理学実習	1後		1				1	+	兼 1	担当者転属(25) 担当 椎葉大輔(講師)		
	機能的解剖学	1前 1後		2						兼 1	教育効果を考慮し開講期を 変更(24)		
	解剖学実習	1後		1				1	+	兼 1	担当者調整のため(24) 担当者の昇格(27)		
	生化学	1前		2		1						担当者追加(23) 担当 二神雅一(兼任)	
	健康管理概論	1後 1前 1後		2		1				兼 1	教育効果を考慮し開講期を 変更(24) 教育効果を考慮し開講期及び 担当者変更(25) 担当 枝松千尋(兼任)		
	衛生学・公衆衛生学 健康科学	1前 2後		2 2			+			兼 1 兼 1	担当者削除(27)		
	メンタルヘルス	3前 3後		2						兼 1	教育効果を考慮し開講期を 変更及び担当者変更(25) 担当 梶原彰子(兼任)		
	バイオサイエンス	1後 1前 1後		2		1						教育効果を考慮し開講期を 変更(24) 教育効果を考慮し開講期を 変更(25) 教育効果を考慮し配当年次を 変更、担当者変更及び追加 (24) 担当 吉田悦男(教授) 水野恭志(兼任)	
	一般救急救命	3後 2後 3後		2		+				兼 1 兼 3	教育効果を考慮し配当年次を 変更、担当者変更及び追加 (25) 担当 柏尚裕(兼任) 山野力(兼任)		
	栄養学概論	2前		2			+			兼 1	担当者変更(27) 担当 矢田貝智恵子(兼任)		
	環境リスク論	2後		2			1			兼 1	担当者転属(27) 担当 妹尾護(教授)		
	関係法規	3前		2				1	+		担当者の昇格(27) 担当者追加(24) 担当 椎葉大輔(兼任)		
	運動生理学	2前		2				+		兼 1 兼 2 兼 1	担当者転属(25) 担当 椎葉大輔(講師) 担当者削除(27)		
	内科学 I (総論)	2前		2		1							

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通 専門 科目	外科学 I (総論)	3前		2								兼一 兼二 担当者変更(27) 担当 濱本健太郎(兼任) 水野 恭志(兼任)
	解剖学	1後		2							兼一	教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当 内藤一郎(兼任)
専 攻 科 目 専 門 科 目	経絡経穴概論 I	1前		2				1	+			担当者の昇格(27)
	経絡経穴概論 II	1後		2				1	+			担当者の昇格(27)
	基礎経穴	2前		2				1	+			担当者の昇格(27)
	東洋医学総論 I	1前		2				1				
	東洋医学総論 II	1後		2				1				
	基礎はりきゅう理論	1前		2				1				
	応用はりきゅう理論	2前		2		1						
	東洋医学各論 I	2前		2				1				
	東洋医学各論 II	2後		2				1				
	東洋医学各論 III	3前		2		1						
	レディース鍼灸学	2前 2後		2		1						教育効果を考慮し配当年次を 変更(26)
	スポーツ鍼灸学	2後		2							兼一	
	社会はりきゅう学	2後		2				1				
	基礎はり実技	1通		2				1	+			担当者の昇格(27)
	基礎きゅう実技	1通		2				1				担当者追加(25)
	鍼灸臨床実習 I	2通		2				1	+		兼一	担当 大町成人(兼任) 担当者の昇格(27)
	鍼灸臨床実習 II	2通		2				1				
	鍼灸臨床実習 III	4通		2		1						
	鍼灸臨床実習 IV	4通		2							兼一	
	鍼灸診察法 I	2通		2				1	+			担当者の昇格(27)
鍼灸診察法 II	3通		2		1						担当者変更(26) 担当 藤川憲太郎(兼任)	
鍼灸治療所実習 I	3通		2		1		+	+		兼一 兼二	担当者変更(27) 担当 箕口けい子(講師) 担当者の昇格(27) 担当者追加(25) 担当 藤川憲太郎(兼任)	
鍼灸治療所実習 II	3通		2		1		1	1		兼一 兼二 兼一	担当者調整(26) 担当者調整(27) 担当 藤川憲太郎(兼任)	
学外関連施設見学実習	3後		1		1		1	1			昇格のため(23) 誤記載による専任から兼任 への訂正(23)	
ウェイトコントロール論	3前		2			+	1	+		兼一 兼二 兼一	担当者調整及び担当者変更 (25) 担当 飯田智行(兼任) 担当者退職(26)	
健康食品学	3後		2							兼一		
セラピー論	3前		2							兼一		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目 専門科目	リラクゼーション論	3後 3前		2							兼 1	教育効果を考慮し開講期を変更(25)
	ボディーケア	2前		2		2		1	1		兼 1	昇格のため(23) 担当者変更(24) 担当 佐藤圭子(兼任)
	ボディーケア実習	2後		2		2		1	1		兼 1	昇格のため(23) 担当者変更(24) 担当 佐藤圭子(兼任)
	アロマセラピー	3後 3前		2							兼 1	教育効果を考慮し開講期を変更(25)
	ヒーリング実習	1前		2							兼 1	
	中医栄養学	3前		2		1					兼 1	担当者転属による変更(27) 担当 吉田繁子(兼任)
	中医栄養学実習	3後		2							兼 1	
	漢方学	2後		2							兼 1	
	香粧品科学	1後 3前		2							兼 1	教育効果を考慮し配当年次を変更(24)
	植物機能学	3前		2		1						
	植物成分分析実験	3後		2		1						
	栽培学	3前		2		1						
	栽培学実習	3通		2		1						
	病理学	2前		2							兼 1 兼 2	担当者変更及び追加(27) 担当 藤田雅範(兼任) 水野恭志(兼任)
	脳外科学	3後		2							兼 1	担当者変更(26) 担当 枝松千尋(兼任)
	生活習慣病予防	2前		2		2 1					兼 1 兼 2	担当者変更(27) 担当 吉田悦男(教授) 矢田貝智恵子(兼任)
	スポーツ医学 I	2前		2							兼 1	
	スポーツ医学 II	3前 2後		2							兼 1	教育効果を考慮し開講期を変更(25)
	スポーツ医学 III	3後		2							兼 1	担当者変更(26) 担当 福嶋啓祐(兼任)
	スポーツ社会学	4後		2							兼 1	
	スポーツ指導論 I	4前		2							兼 1	
	スポーツ指導論 II	4後		2							兼 1 兼 2	担当者追加(27) 担当 川上雅之(兼任)
	スポーツトレーニング理論	2前		2					1	1	兼 1 兼 4 兼 3	昇格のため(23) 誤記載による専任から兼任への訂正(23) 担当者追加(24) 担当 猪木原孝二(兼任) 枝松千尋(兼任) 荒木直彦(兼任) 担当者転属(25) 担当 椎葉大輔(講師)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 攻 科 目	スポーツ指導者基礎	1後		2				1	+		兼一 兼二 兼一	昇格のため(23) 誤記載による専任から兼任 への訂正(23) 担当者転属(25) 担当 椎葉大輔(講師) 担当者追加(25) 担当 飯田智行(兼任) 担当者退職(26)
	アスレティックトレーナー概論	1前 1後		2							兼一	教育効果を考慮し開講期を 変更(25) 担当者変更(26)
	スポーツ心理学	4前		2							兼一	担当 山本浩二(兼任) 担当者変更(27) 担当 門利知美(兼任)
	体表解剖学	1後 1前		2							兼一	教育効果を考慮し開講期を 変更(25) 担当者追加(24)
	運動負荷試験(実習含む)	2後		2				1			兼二 兼一	担当 椎葉大輔(兼任) 担当者転属(25) 担当 椎葉大輔(講師)
	テーピング理論(実習含む)	3前		2							兼一	
	スポーツコンディショニング理論	2後		2							兼一	
	アスレティックリハビリテーション理論	3後		2							兼一	担当者変更(26) 担当 吉田俊明(兼任)
	アスレティックリハビリテーション実習	4前		2							兼一	担当者変更(26) 担当 吉田俊明(兼任)
	アスレティックトレーナー実習Ⅰ	4前		2							兼二 兼一	担当者調整(26)
	アスレティックトレーナー実習Ⅱ	4後		2							兼二 兼一	担当者調整(26)
	アスレティックトレーナー実習Ⅲ	4後 4通		2							兼二 兼一	教育効果を考慮し開講期を 変更及び担当者調整(26) 担当者変更(27)
	トレーニング科学	3前		2							兼一	担当 川上雅之(兼任)
	バイオメカニクス	4前		2							兼一	
	体力測定法(実習含む)	3前		2							兼一	
	ストレッチング理論(実習含む)	3前		2							兼一	
	スポーツ障害論	2後 3前		2							兼一	教育効果を考慮し開講期を 変更(25)
	栄養指導論	3後		2			+				兼一	担当者転属による変更(27) 担当 吉田繁子(兼任)
	スポーツ栄養学	3後		2			+				兼一	担当者変更(27) 担当 矢田貝智恵子(兼任)
	専 門 関 連 科 目	体育原理	2前 2後 2前		2							兼一 兼二
スポーツ実習Ⅰ(陸上)		1前		2							兼一	
スポーツ実習Ⅱ(水泳)		1後 1前		2							兼一	教育効果を考慮し開講期を 変更(25)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	スポーツ実習Ⅲ(球技)	2前		2				1			兼 1	担当者追加(26) 担当 椎葉大輔(講師)
	スポーツ実習Ⅳ(武道)	2後		2							兼 1	昇格のため(23)
	スポーツ実習Ⅴ(テニス)	3前		2			1	4			兼 1	担当者退職のため変更(27) 担当 石川武平(兼任)
	スポーツ実習Ⅵ(体操)	3後 3前		2							兼 1	教育効果を考慮し開講期を変更(25) 担当者追加(24) 担当 大上偉才(兼任)
	ウィンタースポーツ実習	1後		2		1		1			兼1 兼2 兼1	担当者変更及び追加(25) 担当 内藤整(教授) 椎葉大輔(講師) 担当者追加(27) 担当 加藤敬史(兼任) 担当者削除(27)
	フィールドワーク	2前		2		2 3					兼2 兼1	担当者転属(27) 担当 妹尾護(教授) 担当者変更(23) 担当 藤原敏勝(兼任) 担当者変更(24) 担当 渡谷真吾(兼任)
	コンピュータリテラシ	1前		2							兼 1	担当者変更(24) 担当 渡谷真吾(兼任)
	卒業研究	4通		6		5	1	2 1 2 3		1		昇格のため(23) 担当者追加(26) 担当 椎葉大輔(講師) 松田昌子(助教)(講師) 担当者の昇格(27) 担当者退職(27) 担当者転属(27) 担当 妹尾護(教授)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 8	科目 141	科目	科目 149	科目 8	科目 142	科目	科目 150	
				9	150		158	
					155		163	
					154			
				[]	[+1]	[]	[+1]	
				[]	[+9]	[]	[+9]	
				[]	[+13]	[]	[+13]	
				[+1]	[+12]	[]	[+13]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	隣接する同一法人内の 倉敷 食と器 専門学校の 廃止に伴う、校舎敷 地の移管のため。ま た、隣接する総合医療 教育センターを結ぶ道 路を倉敷市により新設 されることになり、新 設道路の土地及び既存 道路の土地を倉敷市に 譲渡し、道路の維持管 理を委任。(25)		
	校 舎 敷 地	133,308.98㎡ 135,599.71㎡	㎡	㎡	133,308.98㎡ 135,599.71㎡			
	運 動 場 用 地	85,876.00㎡	㎡	㎡	85,876.00㎡ 80,043.00㎡			
	小 計	219,184.98㎡ 221,475.71㎡	㎡	㎡	219,184.98㎡ 215,642.71㎡			
	そ の 他	28,483.00㎡	㎡	㎡	28,483.00㎡			
	合 計	247,667.98㎡ 249,958.71㎡	㎡	㎡	247,667.98㎡ 244,125.71㎡			
(2) 校 舎	専 用	44,259.54㎡ 44,274.06㎡ 46,224.80㎡	㎡	㎡	44,259.54㎡ 44,274.06㎡ 46,224.80㎡	11号館トイレ増築(24) 隣接する同一法人内の 倉敷 食と器 専門学校の 廃止に伴う、校舎の 移管のため。また、大 学内の厚生会館(食 堂)の座席数を増や し、学生へのサービス 向上を目的に増築。 (25)		
	(44,259.54㎡) (44,274.06㎡) (46,224.80㎡)	(㎡)	(㎡)	(44,259.54㎡) (44,274.06㎡) (46,224.80㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体(22) 当該学科所属(23)		
	3-2室 1	2-8室 0	9-3室 7	1-0室 0 (補助職員 0人)	1-0室 0 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			年次進行とともに研究室 を増加するため(23)年次 進行とともに研究室を増 加するため(24)年次進行 とともに研究室を増加す るため(25) 退職に伴 う研究室の減少、転属に 伴う研究室の増加(27)		
	生命科学部 健康医療学科		8 6 7 9 8					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	震災の影響により納品 遅延(23) 追加購入のため(24) 追加購入及び管理変更 のため(25) 追加購入及び管理変更 のため(26) 追加購入及び管理変更 のため(27)
	健康医療学科	3,321 [620] (3,321 [620])	610 [230] (610 [230])	0 [0] (0 [0])	100 (100)	242 (242) (838) (816) (1,009) (1,030)	30 (30) (7) (35) (48) (62)	
	計	3,321 [620] (3,321 [620])	610 [230] (610 [230])	0 [0] (0 [0])	100 (100)	242 (242) (838) (816) (1,009) (1,030)	30 (30) (7) (35) (48) (62)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	㎡							
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	㎡							

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等については、見込を誤ったため。また、設備購入費については、追加購入のため(24)
		教員 1 人当り研究費等	教授1,277千円 准教授・講師 1,140千円	教授1,277千円 准教授・講師 1,140千円	図書購入費	300千円	200千円	400千円	
		共 同 研 究 費 等	2,000千円 1,400千円	2,000千円	設備購入費	2,500千円	2,000千円 3,552千円	4,000千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,760千円	1,540千円	1,540千円	1,540千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、私立大学等経常費補助金 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	倉敷芸術科学大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院 (芸術研究科)								岡山県倉敷市 連島町西之浦	
美術専攻修士課程	2	10	—	20	修士(芸術)	0.25	平成11年度	2640番地	
工芸専攻修士課程	2	10	—	20	修士(芸術)	0.20	平成11年度		
芸術研究科修士課程 計						0.22			
芸術制作表現専攻 博士(後期)課程	3	4	—	12	博士(芸術)	0.50	平成13年度		
芸術研究科博士課程 計						0.50			
(産業科学技術研究科)									
計算機科学専攻修士課程	2	8	—	16	修士(産業科学技術)	0.00	平成11年度		
機能物質化学専攻修士課程	2	8	—	16	修士(産業科学技術)	0.81	平成11年度		
産業科学技術研究科修士課程 計						0.40			
計算機科学専攻 博士(後期)課程	3	2	—	6	博士(工学)	0.16	平成13年度		
機能物質化学専攻 博士(後期)課程	3	2	—	6	博士(工学)	0.00	平成13年度		
産業科学技術研究科博士課程 計						0.08			
(人間文化研究科)									
人間文化専攻修士課程	2	15	—	30	修士(学術)	0.23	平成11年度		
人間文化研究科 計						0.23			
大学院(通信制) (芸術研究科)									
美術専攻(通信制)修士課程	2	10	—	20	修士(芸術)	0.20	平成14年度		
芸術研究科 計						0.20			
(産業科学技術研究科)									
機能物質化学専攻(通信制)修士課程	2	20	—	40	修士(産業科学技術)	0.00	平成14年度		
産業科学技術研究科 計						0.00			
(人間文化研究科)									
人間文化専攻(通信制)修士課程	2	30	—	60	修士(学術)	0.08	平成14年度		
人間文化研究科 計						0.08			

大学の名称	倉敷芸術科学大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学 (芸術学部)								岡山県倉敷市 連島町西之浦 2640番地	
美術工芸学科	4	—	— 3年次	—	学士(芸術)	—	平成20年度		平成26年度より学生募集停止
メディア映像学科	4	50	2	154	学士(芸術)	1.09	平成16年度		平成26年度入学定員増(15名)
デザイン芸術学科	4	55	—	160	学士(芸術)	0.76	平成20年度		平成26年度入学定員増(20名)
芸術学部 計						0.92			
(産業科学技術学部)									
観光学科	4	—	— 3年次	—	学士(産業科学技術)	—	平成20年度		平成26年度より学生募集停止
経営情報学科	4	95	4 3年次	261	学士(産業科学技術)	0.55	平成23年度		平成26年度より3年次編入学生募集停止 平成26年度入学定員増(45名)
産業科学技術学部 計						0.55			平成26年度3年次編入入学定員増(2名)
(生命科学部)									
生命科学科	4	50	—	185	学士(生命科学)	1.08	平成16年度		平成26年度入学定員増(5名)
健康科学科 健康科学専攻	4	55	—	220	学士(健康科学)	0.91	平成16年度		平成26年度入学定員増(30名)
鍼灸専攻	4	30	— 3年次	30					
動物生命科学科	4	60	2	259	学士(生命科学)	0.94	平成18年度		平成26年度入学定員減(5名)
生命医科学科	4	50	—	195	学士(生命科学)	1.09	平成20年度		
健康医療学科	4	—	—	—	学士(健康科学)	—	平成23年度		平成26年度より学生募集停止
生命科学部 計						1.00			
学部(通信教育課程)									
(産業科学技術学部)									
IT科学科	4	—	— 2年次 3年次 —	—	学士(産業科学技術)	—	平成15年度		平成21年度より学生募集停止

大学の名称	岡山理科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院									
理学研究科修士課程						0.63		岡山県岡山市北区	
応用数学専攻修士課程	2	6	—	12	修士（理学）	0.91	昭和55年度	理大町1番1号	
化学専攻修士課程	2	16	—	32	修士（理学）	0.59	昭和49年度		
応用物理学専攻修士課程	2	13	—	26	修士（理学）	0.42	昭和49年度		
総合理学専攻修士課程	2	12	—	24	修士（理学）	0.58	昭和63年度		
生物化学専攻修士課程	2	13	—	26	修士（理学）	0.72	平成4年度		
臨床生命科学専攻修士課程	2	12	—	24	修士（理学）	0.74	平成20年度		
動物学専攻修士課程	2	4	—	8	修士（理学）	0.62	平成24年度		
理学研究科博士課程（後期）						0.20			
応用数学専攻 博士課程（後期）	3	4	—	12	博士（理学）	0.08	昭和62年度		
材質理学専攻 博士課程（後期）	3	9	—	27	博士（理学）	0.25	昭和53年度		
工学研究科修士課程						0.51			
応用化学専攻修士課程	2	13	—	26	修士（工学）	0.30	平成2年度		
機械システム工学専攻 修士課程	2	13	—	26	修士（工学）	0.53	平成2年度		
電子工学専攻修士課程	2	8	—	16	修士（工学）	0.43	平成2年度		
情報工学専攻修士課程	2	10	—	20	修士（工学）	0.35	平成8年度		
知能機械工学専攻 修士課程	2	8	—	16	修士（工学）	0.81	平成21年度		
生体医工学専攻修士課程	2	6	—	12	修士（工学）	0.66	平成23年度		
建築学専攻修士課程	2	8	—	16	修士（工学）	0.68	平成23年度		
工学研究科博士課程（後期）						0.26			
システム科学専攻 博士課程（後期）	3	5	—	15	博士（工学）	0.26	平成2年度		
総合情報研究科修士課程						0.75			
情報科学専攻修士課程	2	7	—	14	修士（総合情報）	0.64	平成13年度		
生物地球システム専攻 修士課程	2	7	—	14	修士（総合情報）	1.35	平成13年度		
社会情報専攻修士課程	2	6	—	12	修士（総合情報）	0.16	平成13年度		
総合情報研究科博士課程（後期）						1.00			
数理・環境システム専攻 博士課程（後期）	3	2	—	6	博士（学術）	1.00	平成15年度		

大学の名称	岡山理科大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
学部								
理学部						1.18		岡山県岡山市北区
応用数学科	4	95	—	370	学士（理学）	1.23	昭和39年度	理大町1番1号
化学科	4	70	—	285	学士（理学）	1.22	昭和39年度	
応用物理学科	4				学士（理学）		昭和41年度	
物理科学専攻	4	30	—	120	学士（理学）	1.00	平成14年度	平成27年度より10名増
医用科学専攻	4	40	—	160	学士（理学）		平成14年度	平成27年度より10名減
基礎理学科	4	75	—	300	学士（理学）	1.18	昭和50年度	
生物化学科	4	85	—	340	学士（理学）	1.22	昭和63年度	
臨床生命科学科	4	85	—	340	学士（理学）	1.21	平成16年度	
動物学科	4	40	—	160	学士（理学）	1.17	平成20年度	
工学部						1.16		
バイオ・応用化学科	4	75	—	300	学士（工学）	1.20	昭和61年度	
機械システム工学科	4	85	—	340	学士（工学）	1.21	昭和61年度	
電気電子システム学科	4	70	—	280	学士（工学）	1.16	昭和61年度	
情報工学科	4	85	—	340	学士（工学）	1.24	平成4年度	
知能機械工学科	4	55	—	225	学士（工学）	0.97	平成17年度	
生体医工学科	4	60	—	240	学士（工学）	1.00	平成19年度	
			3年次					
建築学科	4	70	5	215	学士（工学）	1.23	平成23年度	
総合情報学部						1.19		
情報科学科	4	80	—	320	学士（総合情報学）	1.22	平成9年度	
生物地球システム学科	4	—	—	—	学士（総合情報学）	—	平成9年度	平成24年度より募集停止
社会情報学科	4	80	—	310	学士（総合情報学）	1.17	平成9年度	
建築学科	4		—	—	学士（総合情報学）	—	平成19年度	平成23年度より募集停止
生物地球学部						1.17		平成26年度より
生物地球学科	4	100	—	200	学士（理学）	1.17	平成24年度	生物地球学科20名増
(理学専攻科)								
応用数学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度	
化学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度	
応用化学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度	
応用物理学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度	
機械理学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度	
電子理学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度	
教職特別課程	1	50	—	50		0.28	平成2年度	
留学生別科	1	60	—	60		0.23	平成22年度	

大学の名称	千葉科学大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所在地
	年	人	年次 人	人		倍		
大学院								千葉県銚子市 潮見町3番地
薬学研究科								
薬学専攻								
博士課程	4	3	-	6	博士（薬学）	0.33	平成24年度	
薬科学専攻								
修士課程	2	10	-	20	修士（薬科学）	0.50	平成22年度	
博士課程（後期）	3	5	-	15	博士（薬科学）	0.00	平成22年度	
危機管理学研究科								
危機管理学専攻								
修士課程	2	5	-	10	修士（危機管理学）	1.20	平成20年度	
博士課程（後期）	3	3	-	9	博士（危機管理学）	0.33	平成22年度	
大学								
薬学部						0.97		
						0.51		4年制学科
薬学科	6	120	-	770	学士（薬学）	0.97	平成18年度	H26年度4年次編入学募集 停止（△10人）
薬科学科	4	-	-	-	学士（薬科学）	-	平成18年度	H22年度募集停止、学生の 卒業を待って廃止
生命薬科学科	4	40	-	180	学士（生命薬科学）	0.51	平成22年度	
危機管理学部						0.85		
危機管理システム学科	4	100	-	410	学士（危機管理）	0.92	平成16年度	H26年度3年次編入学募集 停止（△5人）
動物・環境システム学科	4	-	-	-	学士（危機管理）	-	平成21年度	H24年度募集停止、学生の 卒業を待って廃止
環境危機管理学科	4	40	-	80	学士（危機管理）	0.72	平成24年度	H26年度3年次編入学募集 停止（△5人）
医療危機管理学科	4	80	-	330	学士（危機管理）	1.19	平成21年度	H26年度3年次編入学募集 停止（△5人）
工学技術危機管理学科	4	40	-	170	学士（危機管理）	0.21	平成22年度	
動物危機管理学科	4	40	-	80	学士（危機管理）	0.83	平成24年度	
看護学部						1.16		
看護学科	4	80	-	80	学士（看護学）	1.16	平成26年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<生命科学部 健康医療学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	内藤 整 (45)	平成23年4月	人間と環境 バイオサイエンス 栽培学 栽培学実習 フィールドワーク 卒業研究	専任	教授	内藤 整 (49)	平成23年4月	人間と環境 バイオサイエンス 栽培学 栽培学実習 フィールドワーク 卒業研究 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ ウィンタースポーツ実習	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25)
専任	教授	吉田 悦男 (53)	平成23年4月	生理学 健康管理概論 内科学Ⅰ(総論) ボディーケア ボディーケア実習 生活習慣病予防 卒業研究	専任	教授	吉田 悦男 (57)	平成23年4月	生理学 健康管理概論 内科学Ⅰ(総論) ボディーケア ボディーケア実習 生活習慣病予防 卒業研究 一般救急救命 生活習慣病予防	担当科目追加(24) 担当科目追加(27)
					兼任	講師	佐藤 圭子 (54)	平成24年4月	ボディーケア ボディーケア実習	担当者変更(24) 担当者変更(24)
					兼任	教授	柏 尚裕 (62)	平成25年4月	一般救急救命	担当者変更(25)
					兼任	准教授	枝松 千尋 (41)	平成26年4月	生活習慣病予防	担当者変更(26)
専任	教授	吉田 繁子 (68)	平成23年4月	健康科学 栄養学概論 ウエイトコントロール論 ボディーケア ボディーケア実習 中医栄養学 生活習慣病予防 栄養指導論 スポーツ栄養学 卒業研究	専任	教授	吉田 繁子 (72)	平成23年4月 平成27年4月	健康科学 栄養学概論 ウエイトコントロール論 ボディーケア ボディーケア実習 中医栄養学 生活習慣病予防 栄養指導論 スポーツ栄養学 卒業研究	担当科目削除(27) 担当者調整(25) 担当者転属(27) 担当科目削除(27)
					兼任	講師	佐藤 圭子 (54)	平成24年4月	ボディーケア ボディーケア実習	担当者変更(24) 担当者変更(24)
					兼任	准教授	矢田貝 智恵子 (46)	平成27年4月	栄養学概論 生活習慣病予防	担当者変更(27)
専任	教授	河邊 誠一郎 (65)	平成24年4月	化学 生化学 植物機能学 植物成分分析実験 フィールドワーク 卒業研究	専任	教授	河邊 誠一郎 (68)	平成24年4月	化学 生化学 植物機能学 植物成分分析実験 フィールドワーク 卒業研究	
					兼任	講師	杉山 宣彦 (63)	平成24年4月	化学	担当者変更(24)
兼任	教授	河邊 誠一郎 (64)	平成23年4月	化学 生化学	兼任	教授	河邊 誠一郎 (64)	平成23年4月	化学 生化学	担当者変更(24) 担当者転属(24)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	内田 輝和 (64)	平成25年4月	応用はりきゅう理論 東洋医学各論Ⅲ レディース鍼灸学 鍼灸臨床実習Ⅲ 鍼灸診察法Ⅱ 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 学外関連施設見学実習 卒業研究	専任	教授	内田 輝和 (66)	平成25年4月	応用はりきゅう理論 東洋医学各論Ⅲ レディース鍼灸学 鍼灸臨床実習Ⅲ 鍼灸診察法Ⅱ 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 学外関連施設見学実習 卒業研究	
兼任	講師	内田 輝和 (63)	平成24年4月	レディース鍼灸学	兼任	講師	内田 輝和 (66)	平成24年4月	レディース鍼灸学	
専任	講師	経遠 雄三 (62)	平成23年4月	保健体育概論 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ スポーツ実習Ⅴ(テニス) 卒業研究	専任 准教授	講師	経遠 雄三 (65)	平成23年4月	保健体育概論 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ スポーツ実習Ⅴ(テニス) 卒業研究	昇格のため(23) 体調不良のため(23) 担当者変更(24) 担当者退職のため科目削除(27)
					兼任	講師	高原 皓全 (28)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ	担当科目調整のため(23)
					兼任	講師	石川 武平 (68)	平成27年4月	スポーツ実習Ⅴ(テニス)	担当者変更(27)
専任	講師	箕口 けい子 (38)	平成23年4月	東洋医学総論Ⅰ 東洋医学総論Ⅱ 基礎はりきゅう理論 東洋医学各論Ⅰ 東洋医学各論Ⅱ 社会はりきゅう学 基礎きゅう実技 鍼灸臨床実習Ⅱ 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 学外関連施設見学実習 卒業研究	専任	講師	箕口 けい子 (42)	平成23年4月	東洋医学総論Ⅰ 東洋医学総論Ⅱ 基礎はりきゅう理論 東洋医学各論Ⅰ 東洋医学各論Ⅱ 社会はりきゅう学 基礎きゅう実技 鍼灸臨床実習Ⅱ 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 学外関連施設見学実習 卒業研究 鍼灸治療所実習Ⅰ	担当科目追加(27)
					兼任	講師	藤川 憲太郎 (43)	平成26年4月	鍼灸治療所実習Ⅰ	担当者変更(26)
					専任	講師	箕口 けい子 (42)	平成27年4月	鍼灸治療所実習Ⅰ	担当者変更(27)
専任	助教	椎葉 大輔 (33)	平成25年4月	生理学実習 ボディーケア ボディーケア実習 スポーツトレーニング理論 スポーツ指導者基礎 ウエイトコントロール論	専任	助教 講師	椎葉 大輔 (35)	平成25年4月	生理学実習 ボディーケア ボディーケア実習 スポーツトレーニング理論 スポーツ指導者基礎 ウエイトコントロール論 運動生理学 運動負荷試験 ウィンタースポーツ実習	昇格のため(23) 担当科目追加(24) 担当科目追加(24) 担当科目追加(25) 担当科目削除(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	助教	椎葉 大輔 (31)	平成23年4月	生理学実習 ボディーケア ボディーケア実習 スポーツトレーニング理論 スポーツ指導者基礎 ウエイトコントロール論	専任 兼任	助教 講師	椎葉 大輔 (33)	平成23年4月	生理学実習 ボディーケア ボディーケア実習 スポーツトレーニング理論 スポーツ指導者基礎 ウエイトコントロール論 運動生理学 運動負荷試験	昇格のため(23) 誤記載による専任から兼任への訂正(23) 担当科目追加(24) 担当科目追加(24) 担当者転属(25)
					兼任	講師	佐藤 圭子 (52)	平成24年4月	ボディーケア ボディーケア実習	担当者変更(24) 担当者変更(24)
専任	助教	松田 昌子 (44)	平成23年4月	解剖学実習 関係法規 経穴経絡概論Ⅰ 経穴経絡概論Ⅱ 基礎経穴 基礎はり実技 鍼灸臨床実習Ⅰ 鍼灸診察法Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 学外関連施設見学実習	専任	助教	松田 昌子 (48)	平成23年4月	解剖学実習 関係法規 経穴経絡概論Ⅰ 経穴経絡概論Ⅱ 基礎経穴 基礎はり実技 鍼灸臨床実習Ⅰ 鍼灸診察法Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 学外関連施設見学実習 卒業研究	担当科目追加(26)
兼任	教授	浅川 富美雪 (64)	平成23年4月	衛生学・公衆衛生学	兼任	教授	浅川 富美雪 (68)	平成23年4月	衛生学・公衆衛生学 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
					専任	教授	妹尾 護 (62)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(27)
兼任	教授	猪木原 孝二 (52)	平成23年4月	保健体育概論 スポーツ実習Ⅳ(武道)	兼任	教授	猪木原 孝二 (56)	平成23年4月	保健体育概論 スポーツ実習Ⅳ(武道) スポーツトレーニング理論	担当科目追加(24)
兼任	教授	大川 元久 (52)	平成24年4月	病理学 脳外科学	兼任	教授	大川 元久 (55)	平成24年4月	病理学 脳外科学	
					兼任	講師	藤田 雅範 (62)	平成27年4月	病理学	担当者変更(27)
兼任	教授	岡 憲明 (48)	平成23年4月	化粧品科学	兼任	教授	岡 憲明 (52)	平成23年4月	化粧品科学	
兼任	教授	柏 尚裕 (58)	平成23年4月	機能的解剖学 一般救急救命 外科学Ⅰ(総論) 解剖学実習 スポーツ医学Ⅰ スポーツ医学Ⅱ スポーツ医学Ⅲ 運動負荷試験 スポーツ障害論	兼任	教授	柏 尚裕 (62)	平成23年4月	機能的解剖学 一般救急救命 外科学Ⅰ(総論) 解剖学実習 スポーツ医学Ⅰ スポーツ医学Ⅱ スポーツ医学Ⅲ 運動負荷試験 スポーツ障害論 一般救急救命	担当者調整のため(24)
					専任	教授	吉田 悦男 (55)	平成24年4月	一般救急救命	担当者変更(24)
					兼任	教授	柏 尚裕 (62)	平成25年4月	一般救急救命	担当者変更(25)
					兼任	講師	福嶋 啓祐 (64)	平成26年4月	スポーツ医学Ⅲ	担当者変更(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	川上 雅之 (67)	平成24年4月	健康科学 運動生理学	兼任	教授	川上 雅之 (70)	平成24年4月	健康科学 運動生理学 トレーニング科学 スポーツ指導論Ⅱ	担当科目追加(27) 担当科目追加(27)
兼任	教授	妹尾 護 (58)	平成23年4月	地球科学 環境リスク論 フィールドワーク	兼任 専任	教授	妹尾 護 (62)	平成23年4月 平成27年4月	地球科学 環境リスク論 フィールドワーク 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当科目追加(27) 担当者転属(27)
兼任	教授	村山 公保 (43)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論 コンピュータリテラシ	兼任	教授	村山 公保 (47)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論 コンピュータリテラシ	
					兼任	教授	藤原 敏勝 (71)	平成23年4月	コンピュータリテラシ	担当者変更(23)
					兼任	教授	渡谷 真吾 (51)	平成24年4月	コンピュータリテラシ	担当者変更(24)
兼任	教授	渡辺 守 (65)	平成23年4月	数学	兼任 兼任	教授 講師	渡辺 守 (66)	平成23年4月 平成24年4月	数学	役職名変更(24) 担当者調整(25)
兼任	教授	中本 太一 (65)	平成23年4月	キャリア・ラーニング 数学	兼任	教授	中本 太一 (65)	平成23年4月	キャリア・ラーニング 数学	中本教授退職 複数の学科専任教員が担当者 であるため教育上影響はない (24)
					兼任	准教授	水田 直美 (49)	平成24年4月	キャリア・ラーニング	中本教授退職のため平成24年 度より担当者変更(24)
					兼任	講師	岡本 宏 (63)	平成24年4月	数学	中本教授退職のため平成24年 度より担当者変更(24)
兼任	教授	小山 悦司 (58)	平成23年4月	キャリア・チャレンジⅠ キャリア・チャレンジⅡ 倉敷まちづくり実践論 まちづくりインターンシップ	兼任	教授	小山 悦司 (62)	平成23年4月	キャリア・チャレンジⅠ キャリア・チャレンジⅡ 倉敷まちづくり実践論 まちづくりインターンシップ まちづくりインターンシップ 倉敷と仕事	担当者変更(23) 担当科目追加(26) 担当科目追加(27)
					兼任	教授	小出 肇 (59)	平成23年4月	まちづくりインターンシップ	担当教員追加(23)
					兼任	准教授	神田 鉄平 (34)	平成23年4月	まちづくりインターンシップ	担当教員追加(23)
					兼任	教授	小山 悦司 (62)	平成26年4月	まちづくりインターンシップ	担当者調整(26)
兼任	教授	植木 利彦 (68)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	兼任	教授	植木 利彦 (70)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	
					兼任	講師	長井 龍月 (61)	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ	植木教授退職のため担当者変 更(26) 担当者調整(27)
					兼任	講師	Glenn Sumner (40)	平成26年4月	英会話Ⅱ	植木教授退職のため担当者変 更(26)
兼任	教授	塩飽 直紀 (67)	平成23年4月	環境と社会	兼任	教授	塩飽 直紀 (71)	平成23年4月	環境と社会 経済学	担当科目追加(26)
兼任	教授	渡辺 肇 (67)	平成23年4月	経済学	兼任	教授	渡辺 肇 (69)	平成23年4月	経済学	
					兼任	教授	塩飽 直紀 (71)	平成26年4月	経済学	渡辺教授退職のため平成26年 度より担当者変更(26)
兼任	教授	河野 正英 (48)	平成23年4月	法学	兼任	教授	河野 正英 (52)	平成23年4月	法学	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	山崎 宏暉 (66)	平成23年4月	文学 文章表現法	兼担	教授	山崎 宏暉 (66)	平成23年4月	文学 文章表現法	山崎教授退職「後任未定」平成24年度は開講せず(24) 担当者追加(25) 山崎教授退職複数の教員が担当者であるため教育上影響はない(24) 担当者追加(25)
					兼担	准教授	江原 雅江 (45)	平成25年4月	文学	担当科目追加(25)
					兼任	講師	加納 直子 (42)	平成25年4月	文章表現法	担当科目追加(25)
					兼担	准教授	水田 直美 (49)	平成26年4月	文章表現法	担当者変更(26)
兼担	教授	鈴木 まどか (65)	平成23年4月	歴史学	兼担	教授	鈴木 まどか (68)	平成23年4月	歴史学	担当者退職のため削除(27)
兼担	教授	濱坂 渉 (59)	平成23年4月	芸術と科学の協調	兼担	教授	濱坂 渉 (62)	平成23年4月	芸術と科学の協調 現代の美術	教育課程の充実を図るため、科目を追加(24)
					兼任	講師	松村 麻太 (42)	平成25年4月	現代の美術	担当者追加(25) 担当者調整(26)
兼担	教授	Caspar SCHWABE (57)	平成23年4月	倉敷まちづくり実践論	兼担	教授	Caspar SCHWABE (60)	平成23年4月	倉敷まちづくり実践論	担当者退職のため削除(27)
兼担	教授	時任 英人 (60)	平成23年4月	歴史学 政治学 アジアの政治文化	兼担	教授	時任 英人 (62)	平成23年4月	歴史学 政治学 アジアの政治文化 キャリア・ラーニング	担当科目追加(23) 担当科目追加(26)
					兼担	准教授	水田 直美 (49)	平成24年4月	キャリア・ラーニング	担当者変更(24)
兼担	教授	西川 高史 (59)	平成23年4月	哲学 宗教学	兼担	教授	西川 高史 (63)	平成23年4月	哲学 宗教学	
兼担	教授	中島 道夫 (60)	平成23年4月	芸術と科学の協調	兼担	教授	中島 道夫 (62)	平成23年4月	芸術と科学の協調	中島教授死去のため、担当者調整中(26)
兼担	教授	藤高 邦宏 (67)	平成23年4月	人生と仕事Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼担	教授	藤高 邦宏 (69)	平成23年4月	人生と仕事Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ	担当科目追加(23)
					兼担	准教授	森島 由紀子 (62)	平成26年4月	人生と仕事Ⅱ 人生と仕事	担当者退職による変更(26)
					専任	教授	赤木 恒雄 (62)	平成27年4月	人生と仕事	担当者・科目名称変更(27)
					兼担	講師	谷川 真利子 (63)	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	担当者退職による変更(26)
					兼任	講師	Glenn Sumner (40)	平成26年4月	英会話Ⅰ	担当者退職による変更(26)
兼担	教授	趙 慧欣 (52)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	兼担	教授	趙 慧欣 (56)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	
兼担	教授	赤木 恒雄 (58)	平成23年4月	人間の発達と形成	兼担	教授	赤木 恒雄 (62)	平成23年4月	人間の発達と形成 人生と仕事 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当科目追加(27)
兼担	教授	佐藤 恒夫 (58)	平成23年4月	芸術と科学の協調	兼担	教授	佐藤 恒夫 (58)	平成23年4月	芸術と科学の協調	
					兼担	准教授	加藤 敬史 (46)	平成23年4月	芸術と科学の協調	担当者変更(23) 担当科目削除(27)
兼担	教授	唐川 千秋 (50)	平成23年4月	心理学	兼担	教授	唐川 千秋 (54)	平成23年4月	心理学	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	山本 健治 (62)	平成23年4月	物理学	兼任	教授	山本 健治 (66)	平成23年4月	物理学	
兼任	准教授	荒木 直彦 (43)	平成23年4月	保健体育概論 スポーツ指導論Ⅰ スポーツ指導論Ⅱ トレーニング科学 スポーツ実習Ⅱ(水泳) スポーツ実習Ⅲ(球技) ウエイトコントロール論	兼任	准教授	荒木 直彦 (47)	平成23年4月	保健体育概論 スポーツ指導論Ⅰ スポーツ指導論Ⅱ トレーニング科学 スポーツ実習Ⅱ(水泳) スポーツ実習Ⅲ(球技) ウエイトコントロール論 スポーツトレーニング理論	担当科目追加(24)
					兼任	講師	飯田 智行 (34)	平成24年4月	保健体育概論 ウエイトコントロール論	担当者変更(24) 担当者変更(25) 担当者退職(26)
					兼任	教授	川上 雅之 (70)	平成27年4月	トレーニング科学	担当者変更(27)
兼任	准教授	加藤 敬史 (43)	平成23年4月	地球科学 フィールドワーク	兼任	准教授	加藤 敬史 (47)	平成23年4月	地球科学 フィールドワーク 芸術と科学の協調 ウィンタースポーツ実習	担当科目追加(23) 担当科目追加及び削除(27)
兼任	准教授	五十嵐 英之 (47)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論	兼任	准教授	五十嵐 英之 (47)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論	
					兼任	教授	児島 塊太郎 (66)	平成24年4月	倉敷まちづくり基礎論	担当者変更(24) 担当科目削除(27)
兼任	准教授	水田 直美 (45)	平成23年4月	日本語表現 社会と言語	兼任	准教授	水田 直美 (49)	平成23年4月	日本語表現 社会と言語 キャリア・ラーニング 文章表現法	担当科目追加(24) 担当科目追加(26)
兼任	准教授	江原 雅江 (41)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅱ	兼任	准教授	江原 雅江 (45)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅱ 文学 基本英語	担当科目追加(25) 担当科目追加(26) 担当科目削除(27)
兼任	准教授	大野 英志 (41)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	兼任	准教授	大野 英志 (45)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ キャリア・ラーニング 英会話Ⅱ	担当者調整のため(23) 担当科目追加(23) 担当科目追加(26)
					兼任	教授	中川 重和 (51)	平成25年4月	キャリア・ラーニング	担当者変更(25)
兼任	講師	枝松 千尋 (37)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ バイオメカニクス スポーツ実習Ⅰ ウィンタースポーツ実習 ウエイトコントロール論	兼任	講師 准教授	枝松 千尋 (41)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ バイオメカニクス スポーツ実習Ⅰ(陸上) ウィンタースポーツ実習 ウエイトコントロール論 スポーツトレーニング理論 健康管理概論 生活習慣病予防	昇格のため(24) 担当科目追加(24) 担当科目追加(25) 担当科目追加(27)
					専任	講師	椎葉 大輔 (35)	平成25年4月	ウィンタースポーツ実習	担当者変更(25)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	山野 力 (43)	平成23年4月	アスレティックトレーナー概論 体表解剖学 テーピング理論(実習含む) スポーツコンディショニング理論 アスレティックリハビリテーション理論 アスレティックリハビリテーション実習 アスレティックトレーナー実習Ⅰ アスレティックトレーナー実習Ⅱ アスレティックトレーナー実習Ⅲ 体力測定法(実習含む) ストレッチング理論(実習含む)	兼任	講師	山野 力 (47)	平成23年4月	アスレティックトレーナー概論 体表解剖学 テーピング理論(実習含む) スポーツコンディショニング理論 アスレティックリハビリテーション理論 アスレティックリハビリテーション実習 アスレティックトレーナー実習Ⅰ アスレティックトレーナー実習Ⅱ アスレティックトレーナー実習Ⅲ 体力測定法(実習含む) ストレッチング理論(実習含む) 一般救急救命	担当者調整(26) 担当科目追加(25)
					兼任	講師	吉田 俊明 (60)	平成26年4月	アスレティックリハビリテーション理論 アスレティックリハビリテーション実習	担当者変更(26)
兼任	助教	大杉 忠則 (34)	平成23年4月	人生と仕事Ⅰ	兼任	助教	大杉 忠則 (35)	平成23年4月	人生と仕事Ⅰ	
					兼任	講師	黒田 明雄 (59)	平成25年4月	人生と仕事Ⅰ 人生と仕事	担当者変更(25) 科目名称変更(27)
兼任	助教	藤塚 千秋 (32)	平成23年4月	保健体育概論	兼任	助教	藤塚 千秋 (32)	平成23年4月	保健体育概論	退職のため(23) 担当者複数のため支障なし
兼任	講師	大町 成人 (47)	平成24年4月	スポーツ鍼灸学 鍼灸臨床実習Ⅳ	兼任	講師	大町 成人 (50)	平成24年4月	スポーツ鍼灸学 鍼灸臨床実習Ⅳ 鍼灸臨床実習Ⅰ	担当科目追加(25)
兼任	講師	折田 真弓 (30)	平成23年4月	リラクゼーション論 ヒーリング実習	兼任	講師	折田 真弓 (34)	平成23年4月	リラクゼーション論 ヒーリング実習	
兼任	講師	梶谷 信之 (57)	平成23年4月	スポーツ実習Ⅵ(体操)	兼任	講師	梶谷 信之 (61)	平成23年4月	スポーツ実習Ⅵ(体操)	
兼任	講師	後藤 清志 (58)	平成26年4月	スポーツ心理学	兼任	講師	後藤 清志 (57)	平成26年4月	スポーツ心理学	
					兼任	講師	山本 浩二 (35)	平成26年4月	スポーツ心理学	担当者変更(26)
					兼任	講師	門利 知美 (29)	平成27年4月	スポーツ心理学	担当者変更(27)
兼任	講師	兒山 志保美 (50)	平成23年4月	メンタルヘルス	兼任	講師	兒山 志保美 (52)	平成23年4月	メンタルヘルス	
					兼任	講師	相原 彰子 (35)	平成25年4月	メンタルヘルス	担当者変更(25)
兼任	講師	田中 まり (51)	平成24年4月	中医栄養学実習 漢方学 アロマセラピー	兼任	講師	田中 まり (54)	平成24年4月	中医栄養学実習 漢方学 アロマセラピー	
兼任	講師	徳永 敏文 (50)	平成26年4月	スポーツ社会学	兼任	講師	徳永 敏文 (51)	平成26年4月	スポーツ社会学	
兼任	講師	森 智恵 (47)	平成25年4月	セラピー論	兼任	講師	森 智恵 (48)	平成25年4月	セラピー論	
兼任	講師	吉田 俊明 (59)	平成26年4月	アスレティックトレーナー実習Ⅰ アスレティックトレーナー実習Ⅱ アスレティックトレーナー実習Ⅲ	兼任	講師	吉田 俊明 (60)	平成26年4月	アスレティックトレーナー実習Ⅰ アスレティックトレーナー実習Ⅱ アスレティックトレーナー実習Ⅲ アスレティックリハビリテーション理論 アスレティックリハビリテーション実習	担当科目削除(27) 担当科目追加(26)
兼任	講師	米谷 正造 (51)	平成24年4月	体育原理	兼任	講師	米谷 正造 (54)	平成24年4月	体育原理	
兼任	講師	内藤 佐和 (39)	平成25年4月	健康食品学	兼任	講師	内藤 佐和 (41)	平成25年4月	健康食品学	
兼任	講師	津野熊 総一郎 (62)	平成23年4月	基本英語 英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	講師	津野熊 総一郎 (66)	平成23年4月	基本英語 英語Ⅰ 英語Ⅱ キャリア・ラーニング	担当科目追加(23) 担当科目調整のため(24)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	杉山 宣彦 (59)	平成23年4月	基本化学	兼任	講師	杉山 宣彦 (63)	平成23年4月	基本化学 化学	担当科目追加(24)
兼任	講師	岡本 宏 (59)	平成23年4月	基本数学	兼任	講師	岡本 宏 (63)	平成23年4月	基本数学 数学	担当科目追加(24)
兼任	講師	足守 浩 (59)	平成23年4月	日本国憲法	兼任	講師	足守 浩 (63)	平成23年4月	日本国憲法	
兼任	講師	岩崎 英人 (61)	平成23年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II	兼任	講師	岩崎 英人 (61)	平成23年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II	
					兼任	講師	久米 大祐 (27)	平成24年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II	担当者変更(24)
					兼任	講師	石田 博也 (36)	平成25年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II	担当者変更(25)
兼任	講師	犬飼 義秀 (58)	平成23年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II	兼任	講師	犬飼 義秀 (61)	平成23年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II	担当者退職(26)
兼任	講師	小西 通雄 (81)	平成23年4月	マスコミ論	兼任	講師	小西 通雄 (84)	平成23年4月	マスコミ論	
					兼任	教授	濱家 輝雄 (67)	平成27年4月	マスコミ論	担当者変更(27)
兼任	講師	角 光義 (58)	平成23年4月	物理学 基本物理	兼任	講師	角 光義 (62)	平成23年4月	物理学 基本物理	
兼任	講師	中原 靖之 (64)	平成23年4月	世界と日本	兼任	講師	中原 靖之 (68)	平成23年4月	世界と日本	
兼任	講師	中村 道一 (41)	平成23年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II	兼任	講師	中村 道一 (45)	平成23年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II	
兼任	講師	藤間 友 (70)	平成23年4月	日本の伝統芸能	兼任	講師	藤間 友 (71)	平成23年4月	日本の伝統芸能	
					兼任	講師	吾妻 寛穂 (67)	平成25年4月	日本の伝統芸能	担当者変更(25)
兼任	講師	加納 直子 (38)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II	兼任	講師	加納 直子 (40)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II 文章表現法	担当科目追加(25)
					兼任	講師	桑原 直子 (41)	平成25年4月	日本語会話 I 日本語会話 II	担当者変更(25)
					兼任	講師	西川 格 (61)	平成26年4月	日本語 I 日本語 II	担当者変更(26) 担当科目削除(27)
					兼任	講師	小西 裕美 (43)	平成26年4月	日本語理解 I 日本語理解 II 日本語会話 I 日本語会話 II	担当者変更(26) 担当科目追加(27)
					兼任	講師	黒田 明雄 (59)	平成27年4月	日本語理解 I 日本語理解 II	担当者変更(27)
					兼任	准教授	水田 直美 (49)	平成26年4月	文章表現法	担当者変更(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	児玉 正子 (60)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II	兼任	講師	児玉 正子 (63)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II 日本語理解 I 日本語理解 II	担当科目追加(27)
					兼任	講師	桑原 直子 (41)	平成25年4月	日本語理解 I 日本語理解 II	担当者変更(25)
					兼任	講師	児玉 正子 (64)	平成27年4月	日本語理解 I 日本語理解 II	担当者変更(27)
兼任	講師	禹 暎瑩 (37)	平成23年4月	日本語演習 I 日本語演習 II	兼任	講師	禹 暎瑩 (37)	平成23年4月	日本語演習 I 日本語演習 II	誤記載による削除(23)
					兼任	教授	古川 敏紀 (65)	平成23年4月	動物入門(生き物を科学する) 教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	担当科目追加(23) 教育課程の充実を図るため、科目を追加(25) 担当者退職(27)
					兼任	教授	田村 勝利 (51)	平成27年4月	動物入門(生き物を科学する)	担当者退職のため、担当者変更(27)
					兼任	教授	梶浦 文夫 (62)	平成27年4月	教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	担当者退職のため、担当者変更(27)
					兼任	教授	岡野 喜良 (66)	平成23年4月	キャリア・ラーニング	担当者追加(23)
					兼任	講師	二神 雅一 (48)	平成23年4月	健康管理概論	担当者追加(23)
					兼任	准教授	枝松 千尋 (41)	平成25年4月	健康管理概論	担当者変更(25)
					兼任	教授	大野 英治 (65)	平成24年4月	医療入門(生き物を科学する) 教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	教育課程の充実を図るため、科目を追加(24) 教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
					兼任	講師	宮本 朋幸 (35)	平成26年4月	医療入門(生き物を科学する)	担当者変更(26) 担当者退職(27)
					兼任	教授	坂口 卓也 (61)	平成26年4月	教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV 医療入門(生き物を科学する)	担当者変更(26) 担当科目追加(27)
					兼任	教授	森田 亜紀 (60)	平成24年4月 平成27年4月	演劇と芸術	教育課程の充実を図るため、科目を追加(24) 担当者退職による転属(27)
					兼任	講師	水野 恭志 (47)	平成24年4月	一般救急救命 病理学 外科学 I(総論)	担当者追加(24) 担当科目追加(27)
					兼任	講師	夫上 偉才 (27)	平成24年4月	ウィンタースポーツ実習	担当者追加(24) 担当者削除(27)
					兼任	講師	内藤 一郎 (64)	平成24年4月	解剖学	教育課程の充実を図るため、科目を追加(24)
兼任	講師	河 智弘 (44)	平成24年4月	ハングル I ハングル II	教育課程の充実を図るため、科目を追加(24)					

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		
				兼任	講師	太田 陽子 (46)	平成24年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24)
				兼担	教授	渡谷 真吾 (51)	平成24年4月	コンピュータリテラシ 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者追加(24) 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25)
				兼担	教授	中川 重和 (51)	平成25年4月	キャリア・ラーニング 数学	担当者追加(25) 担当科目追加(26)
				兼任	講師	松村 麻太 (43)	平成25年4月	現代の美術	担当者追加(25) 担当者退職(26)
				兼担	教授	家住 利男 (61)	平成25年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25)
				兼担	教授	井手 康人 (52)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(27)
				兼担	教授	大林 誠 (62)	平成25年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25)
				兼担	教授	柳田 宏治 (55)	平成26年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(26)
				兼担	教授	近藤 研二 (60)	平成25年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25)
				兼担	教授	神原 正明 (64)	平成26年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(26)
				兼担	教授	濱家 輝雄 (67)	平成25年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ 倉敷と仕事	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25) 担当科目追加(27)
				兼担	教授	赤木 恒雄 (62)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(27)
				兼担	教授	奥本 寛 (60)	平成25年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25)
				兼担	教授	佐藤 恒夫 (62)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(27)
				兼担	講師	飯田 智行 (34)	平成25年4月	スポーツ指導者基礎	担当者追加(25) 担当者退職(26)
				兼任	講師	石田 博也 (36)	平成25年4月	体育原理 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	担当者追加(25)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	藤川 憲太郎 (44)	平成25年4月	鍼灸治療所実習Ⅱ 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ	担当者追加(25) 担当科目追加(26) 担当者調整(26) 担当科目追加及び削除(27)
					兼任	講師	長井 龍月 (61)	平成26年4月	基本英語 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ	担当者追加(26) 担当科目削除(27)
					兼任	講師	谷川 真利子 (63)	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ まちづくりインターンシップ	担当者追加(26) 担当科目追加(27)
					兼任	講師	Glenn Sumner (40)	平成26年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	担当者追加(26)
					兼任	准教授	森島一由紀子 (62)	平成26年4月	人生と仕事Ⅱ 人生と仕事	担当者追加(26)
					兼任	教授	赤木 恒雄 (62)	平成27年4月	人生と仕事	担当者・科目名称変更(27)
					兼任	講師	西川一格 (61)	平成26年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ	担当者追加(26) 担当者削除(27)
					兼任	講師	小西 裕美 (43)	平成26年4月	日本語理解Ⅰ 日本語理解Ⅱ 日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ	担当者変更(26) 担当科目追加(27)
					兼任	講師	黒田 明雄 (59)	平成27年4月	日本語理解Ⅰ 日本語理解Ⅱ	担当者変更(27)
					兼任	講師	山本一浩二 (35)	平成26年4月	スポーツ心理学	担当者変更(26)
					兼任	講師	門利 知美 (29)	平成27年4月	スポーツ心理学	担当者変更(27)
					兼任	講師	福嶋 啓祐 (64)	平成26年4月	スポーツ医学Ⅲ	担当者追加(26)
					兼任	講師	関口 勝夫 (65)	平成26年4月	ボディーケア実習	担当者追加(26)
					兼任	准教授	矢田貝 智恵子 (46)	平成27年4月	栄養学概論 生活習慣病予防	担当者追加(27)
					兼任	講師	石川 武平 (68)	平成27年4月	スポーツ実習Ⅴ(テニス)	担当者追加(27)
					兼任	講師	藤田 雅範 (62)	平成27年4月	病理学	担当者追加(27)
					兼任	講師	門利 知美 (29)	平成27年4月	スポーツ心理学	担当者追加(27)
					兼任	教授	田村 勝利 (51)	平成27年4月	動物入門(生き物を科学する)	担当者追加(27)
					兼任	教授	梶浦 文夫 (62)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者追加(27)
					兼任	教授	井手 康人 (52)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(27)
					兼任	教授	佐藤 恒夫 (62)	平成27年4月	教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	担当者変更(27)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**, 当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」, 変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
5	0	2	2	9	5	0	3	0	8	65	1	65	3
(3)	(0)	(2)	(1)	(6)	[]	[]	[+1]	[Δ2]	[]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません), および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	吉田 繁子	定年による退職(27)
2	准教授	経遠 雄三	定年による退職(27)
3			
4			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の退職により、学生への教育に支障がないように、同一分野の他の教員又は、非常勤講師を採用し、教育を行う。後任者の担当科目については、シラバス、時間割等に記載し、さらに、オリエンテーションを行うことにより、周知徹底を図る。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (23年5月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (24年5月)	生命科学部健康医療学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	定員充足に向け来年度以降、入学定員の確保が行えるよう、説明会・高校訪問・出張講義・オープンキャンパス等、学科の周知に努め、入学定員確保が行えるよう努めてまいります。	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (25年5月)	生命科学部健康医療学科, 千葉科学大学薬学部生命薬科学科, 危機管理学部航空・輸送安全学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	健康医療学科は、入学定員確保に向けて次のような対策をとった。 オープンキャンパス・高校訪問・説明会等で、学科を分かりやすく紹介する工夫を行い、その結果、オープンキャンパス参加者では、平成23年度に31名だったのが、平成24年度では36名に増加し、資料請求では、平成23年度507件だったのが、平成24年度では672件と増加した。	<ul style="list-style-type: none"> ・学生に対する就職支援に力をいれ、安心して入学出来る体制を確立し、入学生確保に努める。 ・今後、健康医療学科を含む大学全体の学部組織を、より魅力のある学部学科に改編するよう検討している。 対応完了予定時期 平成26年度内
			千葉科学大学薬学部生命薬科学科は、平成24年度より、定員の見直しを行い、入学定員を50名から40名に変更した。また、平成24年度より、危機管理学部の学科改組により、3名の教員が所属変更した。このため教育課程の見直しを行い、専任教員1名を採用、1名の専任教員の所属変更と助手から助教への1名昇格により、教育内容の充実に努めてきた。その結果、志願者数は毎年減少していたが、今年度は増加の予定である。	引き続き教育内容を充実するとともに、受験生に理解が得られるよう広報活動を行い学生確保に努める。
			千葉科学大学危機管理学部航空・輸送安全学科は、受験生に与える印象と教育内容の不一致が定員未充足の原因ではないかと思われることから、工学に興味を持ち、災害や事故に対処できる若者の興味をひくとともに、従来からのパイロット希望者の関心も維持し志願者の増加を図ることが可能と考え、教育課程の見直しを行い、平成25年度より学科名称を工学技術危機管理学科に変更する手続きを行った。	

設置計画履行状況 調査時 (26年5月)	生命科学部健康医療学科、芸術学部美術工芸学科、産業科学技術学部観光学科、千葉科学大学薬学部生命薬科学科、危機管理学部工学技術危機管理学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	生命科学部健康医療学科、芸術学部美術工芸学科、産業科学技術学部観光学科の学生募集を平成26年4月より停止します。 (平成25年4月25日付で報告書提出済)	該当無し
			千葉科学大学薬学部生命薬科学科の志願者数(入学者数)は2012年度は52名(18名)、2013年度は50名(23名)だった。2014年度入試はまだ進行中であるが、これまでで志願者数は59名となっていて、志願者増加が見られている。最終的な入学者数の増加を期待している。	6年制薬学科に比べて生命薬科学科では資格が取れない、という受験生、父兄の判断で受験者数が低迷していた傾向があるので、本学科では生命科学に関わる多様なキャリアパスが得られることをアピールしている。また、優秀な学生に対する特待生制度によって質の向上を図っている。ここ何年か、薬学部全体に対する受験生の志向が下降していたが、やや回復の兆しがあるので、本学科の施策ともども入試状況の改善につながることを期待される。2014年度の入学者数が確定した時点で、入学定員見直しを含めて計画を再検討する。
			千葉科学大学危機管理学部工学技術危機管理学科は、2013年度の入学者数は7名であったが、2014年度の入学予定者数は11名と回復の兆しが見えてきた。	工学的技術を用い危機管理にあたる人材を育成するという学科の教育理念のもと、「防災技術コース」及び「パイロット・整備コース」を設置している。 「防災技術コース」においては、火災、水害、地震などの実験装置を用い、体験的に防災技術に関する専門知識を学ぶことにより、様々な危機を想定し、予防や的確な対処ができる能力を培うことを目標にしている。先の東日本大震災を経験し、改めて「防災」に対する重要性が問われている中、工学的見地からの防災技術を社会に紹介するなど、本コースで行っている教育研究活動を積極的に情報発信し認知度の向上を図っていく。 また、「パイロット・整備コース」においては、次年度からは被災地と都市との間の人員や物資の移送に威力を発揮する航空機や車両の運航、整備に携わるとともに航空機や車両の利用に貢献できる人材の養成に関し、従前の自家用操縦資格取得から事業用操縦資格を取得できるよう教育内容を充実させる予定である。 本学科は工学系の学科で有ることから機械系、電気系の学科を設置している工業系高校を中心に高校訪問活動を強化するとともに、工学系志望、航空機の利用に興味のある生徒にDM等を発送し、学部、学科の教育理念、目指す人材養成像の浸透を図り、入学定員確保を目指す方針である。

	芸術学部メディア映像学科の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	定員超過率が1.00になるように入学定員を見直し、平成26年4月より入学定員を35名→50名に変更します。 (平成25年4月25日付で届出書提出済)	該当無し
設置計画履行状況調査時 (27年5月)	産業科学技術学部経営情報学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	産業科学技術学部経営情報学科の認知度を向上させるため、大学全体のオープンキャンパスとは別に学科独自のオープンキャンパスを開催。また、スマートフォンに対応した学科オリジナルのホームページを立ち上げ、学科の特色のある活動の情報発信を行っている。その結果、2014年度の志願者48名・入学者31名に対し、2015年度は志願者65名・入学予定者39名と改善してきている。	受験生等に学部学科の教育理念や目指す人材養成像などを分かりやすく伝えるため、学科オリジナルホームページやリーフレットを通じて積極的な情報発信を行っている。また、本学のある倉敷地域の観光資源を利用したフィールドワーク教育を充実させ、学生が地元の生きた教材を利用しながら課題を解決し、その成果を地元還元することにより、学生の活動が評価され、さらに学科の認知度向上につながることで、志願者の増加、入学定員確保を目指す方針である。
	生命科学部健康医療学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	生命科学部健康医療学科の学生募集を平成26年4月より停止し、生命科学部健康科学科に統合し、鍼灸専攻とした。その結果、学生募集が効率的に行えるようになったため、2014年度の志願者15名・入学者8名に対し、2015年度は志願者33名・入学予定者17名と改善してきている。	該当無し
	生命科学部健康医療学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	生命科学部健康医療学科を、生命科学部健康科学科に鍼灸専攻として統合する際に、現状の教員をそのまま異動させている。また、健康医療学科の完成年次に伴い、年齢の高い教員が退職となるため、順次、教員の補充を実施する計画としている。	専任教員の年齢構成のバランスを考え、退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高い状況にならないよう、適正な教員の年齢構成になるよう計画的に検討していく。また、教育内容および教員組織を継続的に維持していくことで、学生への教育の質を保っていく。
	既設学部等（千葉科学大学薬学部生命薬科学科、危機管理学部工学技術危機管理学科）の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	千葉科学大学薬学部生命薬科学科においては、全国的に4年制薬科学科の定員充足状況が厳しいなか、定員充足の対策として、学修内容や就職先、教育内容を周知するために広報活動に積極的に取り組んでいるが、本年度入試においても予想定員充足率が0.50を切る厳しい状況が続いている。また、危機管理学部工学技術危機管理学科では平成25年度より学科名称を本名称に変更し、工学系学科であることを明示し、積極的に広報活動に取り組んできており、本年度入試においては、微増ではあるが、志願者、入学者ともに増加している。	千葉科学大学薬学部生命薬科学科においては、引き続き、学修内容や就職先、教育内容の周知を踏ると共に、今後、受験生、保護者への情報提供の方法・内容、教育研究内容の充実等について当該学科のみならず、全学的な入試広報委員会において積極的に検討し、更なる改善を行い、入学定員確保を目指す。また、危機管理学部工学技術危機管理学科においては、平成25年度より「工学技術危機管理学科（旧 航空・輸送安全学科）」に名称変更し、工学系であることを明示したことにより、微増ではあるが、志願者、入学者共に増加している。引き続き工学系の学生受け入れを目指し広報活動も積極的に行う。また、当該学科及び全学的な入試広報委員会等で受験生、保護者への情報提供の方法・内容、教育研究内容の充実等について更なる検討を行い、入学定員確保を目指す。

<p>既設学部等（岡山理科大学理学部化学科）の入学定員超過の改善に努めること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>平成23年度は1.28倍、平成24年度は1.30倍、平成25年度は1.28倍、平成26年度は1.37倍であり、平成26年度の4年間の平均入学定員超過率は1.30倍であった。この主な原因は、平成26年度入試において想定以上に入学者があり、単年度の超過率が1.37倍となったためである。平成27年度入試では、定員超過の改善に努め、3月時点での入学予想数は1.00倍であり、4年間の平均入学定員超過率は1.23倍に改善できる見込みである。</p>	<p>次年度以降も引き続き、入学定員超過の改善に努める予定である。</p>
---	-------------	---	---------------------------------------

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<生命科学部 健康医療学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況
 倉敷芸術科学大学教育研究推進委員会規程(添付)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 平成26年度

第1回教育研究推進委員会	平成26年	5月21日(水)	参加13名
第2回教育研究推進委員会	平成26年	7月23日(水)	参加18名
第3回教育研究推進委員会	平成26年	9月3日(水)	参加17名
第4回教育研究推進委員会	平成26年	10月29日(水)	参加15名
第5回教育研究推進委員会	平成27年	1月21日(水)	参加18名

c 委員会の審議事項等
 主な議題: 委員長・副委員長選出について
 到達目標について
 授業アンケートについて
 学生満足度アンケートについて
 授業公開について
 FD報告書等作成について

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業評価アンケート
- ・ 授業公開
- ・ FD講演会

b 実施方法

- ・ 授業アンケート・・・前期後期定期試験前原則として全授業科目を対象として実施
- ・ 授業公開・・・授業アンケートにおいて、高評価の教員を公開授業の対象とし、後期に1週間実施
- ・ FD講演会・・・年間3回程度、外部講師や学内の教員による講演会を実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業アンケート・・・全教員を対象に前期、後期各1回実施
- ・ 授業公開・・・・・・前期、後期に約2週間各学科の教員を対象に実施
- ・ FD講演会・・・・・・年間で3回実施。各回に約50名の教職員が参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）について、全学的に行っている活動における授業改善への方法は、次のように行われている。まず授業アンケートでは、各項目の各人の評価点数（5段階評価）と学部全体の評価点を比較できるようフィードバックし、全体における評価に対し、各人が担当する科目の評価点数を比較することで、改善の余地がある項目について確認できる仕組みとなっている。これにより、ここの担当教員が改善を行うこととしている。また、アンケートには自由記述欄を設けており、学生からの具体的な指摘を受けた内容について、必要に応じて改善を加えている。また、問題点が大きい場合は、当該学部長を交え改善について注意を促すこととしている。

アンケート内容や実施方法については、教育研究推進委員会にて現状確認を行い、改善の必要があれば議論し改善を行っている。

授業公開、FD講演会では、参加した教員がそれぞれの着眼点で授業改善に有効となる発想を見つけ改善に取り組んでいる。

また、学科においても体系的なカリキュラムを構築し、学科で必須の分野に関する科目のリメディアル教育を充実させ、ITやメディア教材を活用し学生の理解度を上げる工夫を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施の有無・・・有

実施時期・・・前期授業（平成26年7月16日（水）～平成26年7月31日（木））

後期授業（平成27年1月13日（火）～平成27年2月2日（月））

b 教員や学生への公開状況、方法等

学内において授業評価アンケートを閲覧出来る場所を設置し、各授業評価アンケート結果データを紙ファイルにて公開を行っている。また、大学ホームページ上においても学科毎の授業評価アンケート結果を電子データにて公開を行い授業の改善に役立てている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

健康医療学科の趣旨・目的の達成状況については、趣旨・目的を達成させるために教育研究活動や管理運営組織等を点検評価する体制を整えている。具体的には、本学では当該年度の活動を点検評価した結果をまとめたFD活動年次報告書を刊行している。経営情報学科でも、各年度の活動を、公益財団法人大学基準協会の定めた大学基準（評価項目）に沿って、例えば「1. 理念・目的」では、PDCAサイクルに基づいて、「目標」、「現状」、「点検・評価」、「改善・改革方策」の順に確認して、その結果を上述の報告書に記載することとしている。

このような点検評価体制により、経営情報学科の趣旨・目的の達成に向けて、今後も引き続き設置計画を確実に履行するとともに、学士課程教育にふさわしい教育研究水準の維持・向上に努める所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成23年(2011年)4月 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上で公開(<http://www.kusa.ac.jp/about-university/outline/>)

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年(2017年)度に公益財団法人大学基準協会にて認証評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成27年度内公開予定)